



札幌禎心会病院

病院年報 2017 年度



札幌禎心会病院

病院年報

病院年報 2017 年度 目次

| | |
|----------------|----|
| 理念・基本方針 | 1 |
| 札幌禎心会病院 5 つの特徴 | 2 |
| 法人組織図・病院概要 | 3 |
| 院長挨拶 | 5 |
| 法人沿革 | 6 |
| 施設認定及び施設基準 | 7 |
| 組織図 | 9 |
| 委員会図 | 10 |
| | |
| 診療実績 | |
| 1) 外来患者数 | 11 |
| 2) 入院患者数 | 17 |
| 3) 病棟実績 | 22 |
| 4) 救急実績 | 23 |
| 5) 手術実績 | 24 |
| 6) 紹介・逆紹介実績 | 26 |

部署紹介

| | |
|------------|----|
| 看護部 | 29 |
| 感染防止対策室 | 33 |
| 医療安全対策室 | 35 |
| 褥瘡対策委員会 | 36 |
| 薬剤部 | 37 |
| 放射線部 | 38 |
| 臨床検査部 | 40 |
| リハビリテーション部 | 41 |
| 地域医療支援センター | 43 |
| 臨床工学部 | 45 |
| 栄養科 | 46 |
| 医事課 | 48 |
| 総務課・秘書課 | 49 |
| 業務推進グループ | 50 |
| 診療情報管理室 | 51 |

理念・基本方針



----- 法人理念 -----

良質な医療・介護を通じて、地域社会の繁栄に貢献する

----- 基本方針 -----

- ・三大疾病(がん・脳卒中・心臓病)を中心に、専門性の高い医療を提供します。
- ・患者さん及びご家族の立場と権利を尊重します。
- ・地域の医療・介護・福祉機関との連携をはかります。

札幌禎心会病院5つの特徴

1. 三大疾病に特化した医療

高齢社会の進展から、今後の医療ニーズの中心となる「がん、脳卒中、心臓病」という三大疾病に特化した医療提供を行います。高度専門医療センターを設置し、最高レベルの臨床医との交流、各疾患研究者による定期的講演・シンポジウム招聘などを通じ、可能な限り最先端の診療を目指します。

2. 個別性を重視した診療

がん診療では患者さんのQOL(生活の質)を考え個別性を重視した診療を基本にします。そのため、

- 手術、放射線治療、化学療法に加え、第4の治療法と言われるワクチン療法も将来取り入れる予定です。
- 放射線治療は、開設時から道内三医大にも未配備のリニアック最高機種(限局した病巣から広範囲の病巣まで照射可能かつ高線量から低線量まで可変可能な装置)を設置して開始します。陽子線治療は機器の調整後、秋には治療が可能となります。
- 化学療法は、診療科の垣根を越えた腫瘍内科チームに一元化する診療体制とします。
- 個々の患者さんに最も適した治療法を選択できるよう関連各科の医師の検討会を開催し、治療では医師や看護師等メディカルスタッフ全ての参加のもとにチーム医療を実践します(集学的診療体制を立ち上げます)。

3. 複数科で協働診療

血管障害として密接な関係のある脳卒中と虚血性心疾患を脳卒中診療医と循環器診療医が協働して診療に当たる体制を構築します。

4. 研修センターでスタッフ養成

研修センターを設置し、医大等との連携のもとに若手医師の養成を行うとともに、各領域における専門診療に対応できる看護師、メディカルスタッフの養成も行います。

5. 連携体制で地域医療を実践

地域の先生方との交流を図り、ICT(情報通信技術)も利用した連携体制を構築し、地域医療を守ります。

法人組織図



病院概要

| | |
|-------|--|
| 名称 | シャカイイリヨウホウジンテイシンカイ サッポロテイシンカイビョウイン 社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院 |
| 理事長 | トクダ サダヒサ 徳田 禎久 |
| 院長 | トクダ サダヒサ 徳田 禎久 |
| 創立年月日 | 昭和 59 年 4 月 9 日 |
| 移転開設日 | 2015 年 11 月 1 日 |
| 住所 | 〒065-0033 北海道札幌市東区北 33 条東 1 丁目 3-1 |
| 電話 | 011-712-1131 |
| FAX | 011-751-0239 |
| 敷地面積 | 本館: 7,968.01m ² 陽子線治療センター: 2,093.50m ² |
| 延床面積 | 本館: S造 8 階建て 2 万 5,862.67m ² 陽子線治療センター: RC造 4 階建て 2,650.71m ² |
| 診療科 | 脳神経外科／神経内科／消化器内科／消化器外科／内科／循環器内科／心臓血管外科／頭頸科／腫瘍内科／乳腺外科／婦人科／放射線治療科／放射線診断科／リハビリテーション科／形成外科／ペインクリニック外科／麻酔科／病理診断科／歯科口腔外科 |



地下鉄

- 南北線「北34条駅」2番出口から徒歩5分



バス

※中央バス「札幌禎心会病院」下車

- 東76・78 ●屯田線02 ●ひまわり団地線28 ●花畔団地線16 ●篠路駅前団地線36
- 石狩線 ●あいの里・篠路線22 ●札幌線 ●花川南団地線14・60



空港

■新千歳空港から

- JAL、ANA、国際線各到着口前から中央バス「北24条・麻生行き」乗車、「札幌禎心会病院」下車(所要時間約50分)
- JR「新千歳空港駅」から札幌行きに乗車、「札幌駅」下車(所要時間約40分)、地下鉄南北線「さっぽろ駅」から麻生行きに乗車、「北34条駅」下車(所要時間7分)、2番出口から徒歩5分



高速道路

- 札幌自動車道「札幌北インターチェンジ」上下各出口から約1分

院長挨拶

安全で良質な医療を提供します。

徳田 禎久
トクダ サダヒサ

「禎心会病院」は、医療介護複合体である禎心会グループの基幹病院です。

1984年の創業以来、259,000人の札幌市東区において、脳卒中を中心とした専門的医療と地域密着型医療を提供してまいりました。

創業当時から脳卒中の診療において超早期からベッドサイドでのリハビリテーションを行う施設として運営してきておりましたが、2012年4月から新たに「脳卒中センター」を開設し、24時間365日の診療対応と優秀な手術指導医のもとに若手脳神経外科医の養成を行う取り組みも始めました。

2014年度は1800台余りの救急車を受け入れ、本州からも100名近い患者さんが難度の高い手術を受けに来られ、計703例の脳神経外科手術を実施致しました。

2015年11月1日からこれまでの脳卒中に「がん」「心臓病」も加え三大疾病に特化する医療提供を目指して、北33条東1丁目に新築移転し、名称も「札幌禎心会病院」と変更致しました。

血管病として共通した病変の多い脳卒中と循環器病を一緒に診療することは開設以来の念願であり、365日24時間対応の救命救急から一般診療まで脳神経外科医と循環器内科・外科医が連携して対応する市内初の施設として今後充実を図ってまいります。

がん治療では、手術・化学療法に加え、体にやさしくQOL(生活の質)を担保できる治療として高く評価されるようになった放射線治療にも重点を置いております。まだまだ欧米に比べて遅れている放射線治療を充実させるために、道内第1号機である最高機種(米国バリアン社製リニアック)を導入しています。話題の「陽子線治療機器」も道内2号機、民間初として設置し、2017年2月から稼働しています。

我々は、病院方針のもとに、より一層安全で良質な医療提供を心がけてまいります。

これからも地域に貢献できる医療機関として努力を続ける所存です。

皆さまからのご助言ご支援を宜しくお願い申し上げます。

法人沿革

| | | |
|---------|----------|---|
| 昭和 59 年 | 4 月 9 日 | 禎心会病院開設(80 床) |
| | 10 月 1 日 | 禎心会病院増床(48 床増床し 128 床) |
| 昭和 60 年 | 7 月 1 日 | 禎心会病院増床(14 床増床し 142 床) |
| 昭和 62 年 | 9 月 1 日 | 医療法人禎心会設立 |
| 平成 7 年 | 7 月 1 日 | 禎心会病院デイケアセンター開設 |
| | 10 月 2 日 | セントラル CI クリニック開設 |
| 平成 8 年 | 7 月 1 日 | 札幌市東区禎心会病院在宅介護支援センター開設 |
| 平成 9 年 | 7 月 1 日 | ホームヘルプサービスステーション開設 |
| 平成 11 年 | 1 月 11 日 | 稚内禎心会病院開設(110 床) |
| | 4 月 20 日 | 老人保健施設ら・ぶらーさ開設(100 床) |
| | 9 月 1 日 | 訪問看護ステーション禎心会東開設 |
| 平成 12 年 | 4 月 1 日 | 禎心会東センター開設 禎心会北センター開設 ら・ぶらーさセンター開設 |
| | 9 月 1 日 | 禎心会東センター移転 |
| | 8 月 9 日 | セントラル CI クリニック移転(PET-CT 導入) |
| 平成 16 年 | 5 月 1 日 | 介護老人保健施設ら・ぱーす開設(80 床) ら・ぱーすセンター開設 |
| | 4 月 1 日 | 禎心会北センター移転 |
| 平成 17 年 | 9 月 1 日 | 新札幌恵愛会病院開設(86 床) |
| | 10 月 1 日 | セントラル女性クリニック開設(1 床) |
| | 3 月 1 日 | 社会医療法人認定 |
| 平成 22 年 | 6 月 1 日 | 禎心会東在宅クリニック開設 |
| 平成 23 年 | 5 月 15 日 | 禎心会病院増床(1 床増やし 143 床) |
| | 6 月 1 日 | ら・かるまセンター開設 サービス付き高齢者向け住宅 ら・かるま開設 |
| | 8 月 5 日 | さっぽろ北口クリニック開設 (セントラル女性クリニックの診療機能移設) |
| 平成 25 年 | 4 月 1 日 | 新札幌恵愛会病院医療事業を別法人へ継承 |
| | 11 月 1 日 | 札幌禎心会病院開設(禎心会病院の移転新築、名称変更) 禎心会北 44 条クリニック開設(禎心会東在宅クリニックの機能移転、名称変更) |
| 平成 27 年 | 4 月 1 日 | 禎心会東センター移転 |

施設認定及び施設基準

【施設認定】

- 日本医療機能評価認定施設
- 臨床修練指定病院
- 日本脳神経外科学会専門医認定制度による研修施設
- 日本脳卒中学会専門医認定制度による研修教育施設
- 日本脳ドック学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設・研修関連施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設群連携施設
- 日本脈管学会認定研修関連施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術実施基準における実施施設
- 麻酔科認定病院
- 日本ペインクリニック学会専門医指定研修施設
- 陽子線治療(先進医療指定)
- 認定薬剤師制度研修施設

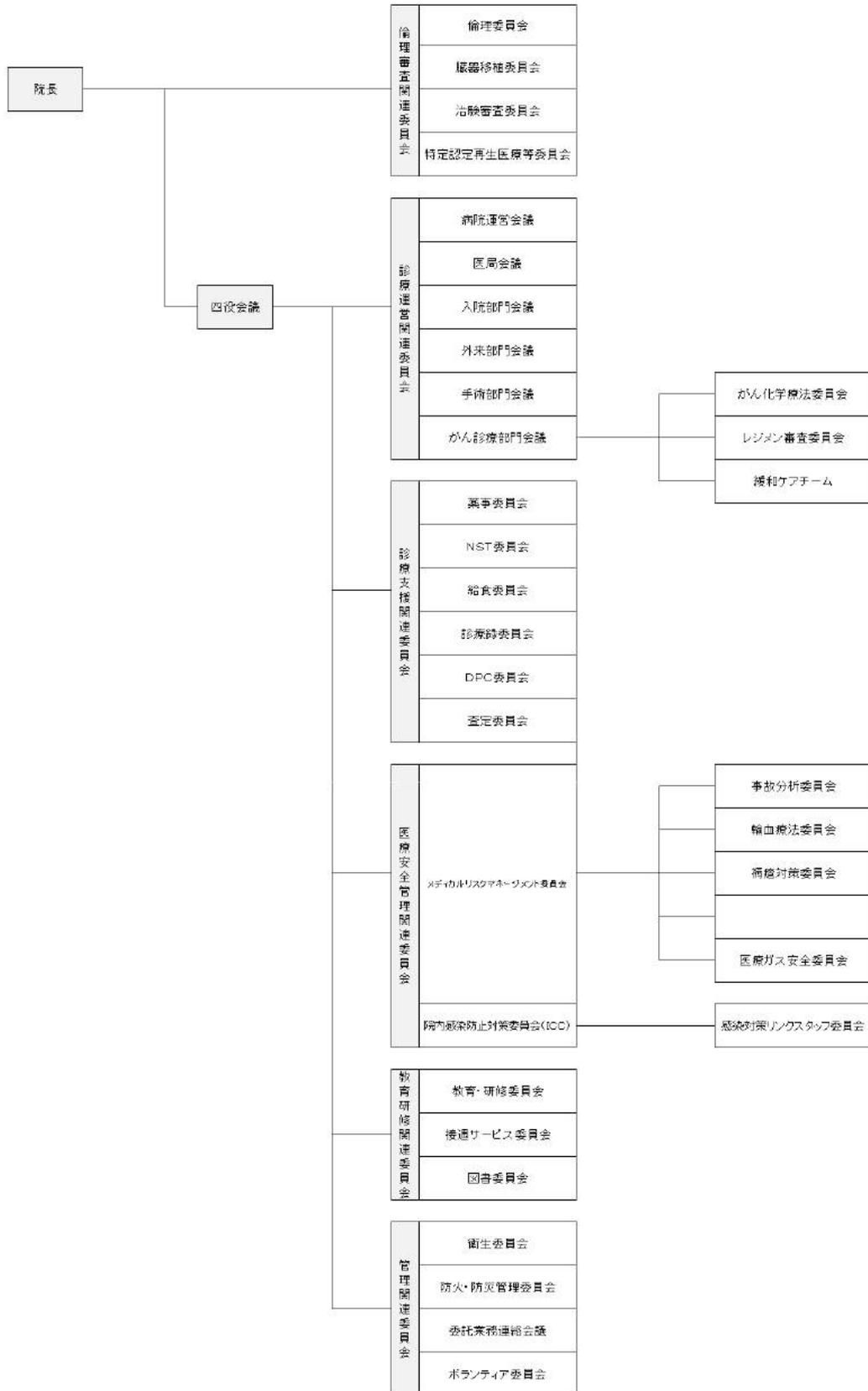
【施設基準】

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ○一般病棟入院基本料(7 対 1) | ○データ提出加算 2 |
| ○診療録管理体制加算 1 | ○退院支援加算 1 |
| ○医師事務作業補助体制加算 1(20 対 1) | ○認知症ケア加算 2 |
| ○急性期看護補助体制加算(25 対 1) | ○脳卒中ケアユニット入院医療管理料 |
| ○療養環境加算 | ○地域包括ケア病棟入院料 1 |
| ○栄養サポートチーム加算 | ○糖尿病合併症管理料 |
| ○医療安全対策加算 1 | ○がん性疼痛緩和指導管理料 |
| ○感染防止対策加算 1 | ○がん患者指導管理料 1 |
| ○総合評価加算 | ○がん患者指導管理料 2 |
| ○病棟薬剤業務実施加算 1 | ○院内トリアージ実施料 |
| ○病棟薬剤業務実施加算 2 | ○外来放射線照射診療料 |

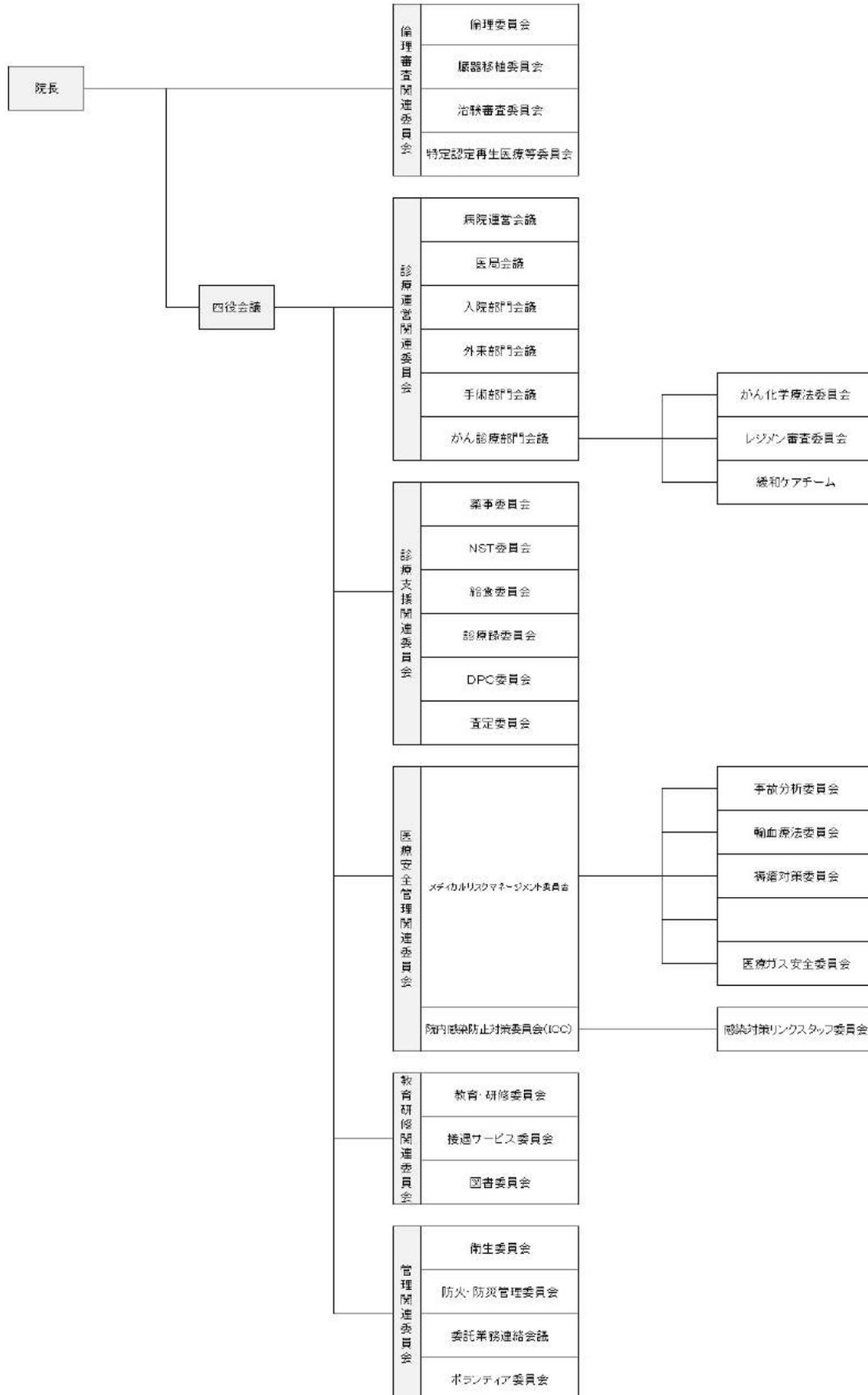
- ニコチン依存症管理料
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料 1
- 医療機器安全管理料 2
- 歯科治療総合医療管理料
- 在宅患者歯科治療総合医療管理料
- 検体検査管理加算Ⅱ
- 神経学的検査
- 画像診断管理加算 2
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 心臓MRI撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算 2
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料(I)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- がん患者リハビリテーション料
- 歯科口腔リハビリテーション料 2
- CAD/CAM 冠
- 脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 乳がんセンチネルリンパ節加算 2
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 大動脈バルーンパンピング法(IABP 法)
- 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術(胃瘻造設術)
- 輸血管管理料Ⅱ
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料Ⅰ
- 放射線治療専任加算
- 外来放射線治療加算
- 高エネルギー放射線治療
- 1 回線量増加加算
- 強度変調放射線治療(IMRT)
- 画像誘導放射線治療加算(IGRT)
- 体外照射呼吸性移動対策加算
- 直線加速器による放射線治療(定位放射線治療)
- 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- 歯科外来診療環境体制加算
- 排尿自立指導料
- 病理診断管理加算 1
- 先進医療技術 陽子線治療
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 粒子線治療

組織図

札幌医科大学病院委員会組織図



委員会図

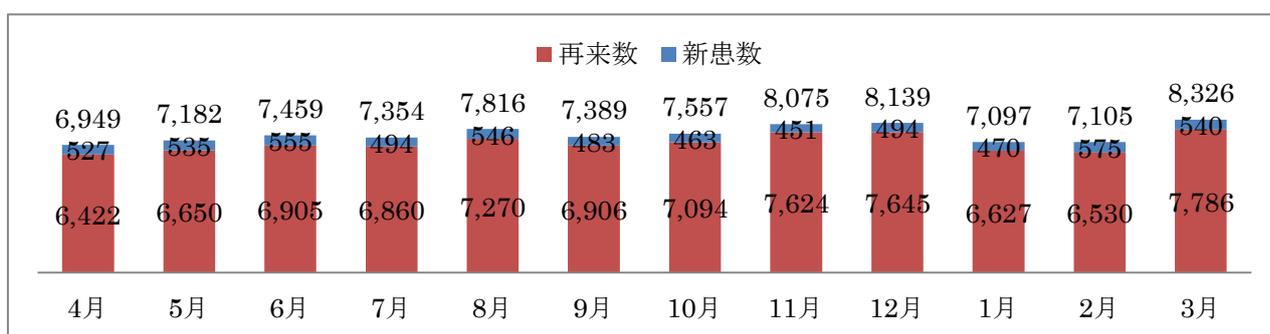


診療実績

1) 外来患者

【病院全体】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新患者数 | 527 | 535 | 555 | 494 | 546 | 483 | 463 | 451 | 494 | 470 | 575 | 540 |
| 再来患者数 | 6,422 | 6,650 | 6,905 | 6,860 | 7,270 | 6,906 | 7,094 | 7,624 | 7,645 | 6,627 | 6,530 | 7,786 |
| 計 | 6,949 | 7,182 | 7,459 | 7,354 | 7,816 | 7,389 | 7,557 | 8,075 | 8,139 | 7,097 | 7,105 | 8,326 |



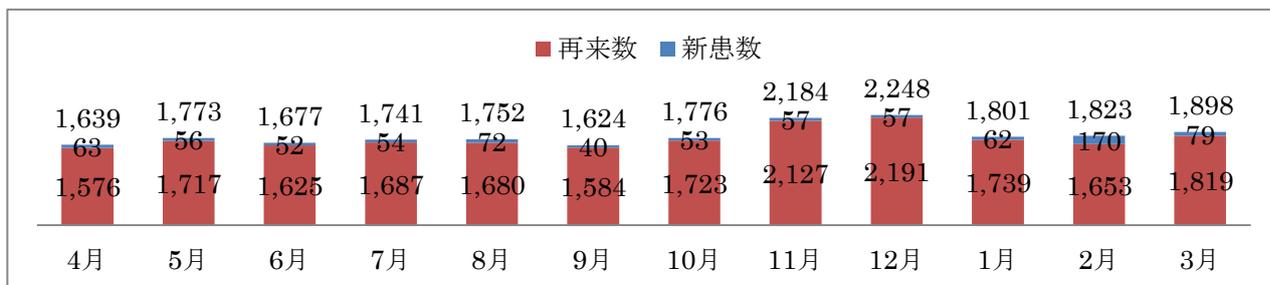
【脳神経外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新患者数 | 285 | 318 | 333 | 269 | 313 | 289 | 260 | 249 | 272 | 262 | 247 | 303 |
| 再来患者数 | 2,534 | 2,716 | 2,813 | 2,556 | 2,903 | 2,743 | 2,841 | 2,870 | 2,863 | 2,521 | 2,512 | 3,121 |
| 患者合計 | 2,819 | 3,031 | 3,145 | 2,825 | 3,216 | 3,032 | 3,101 | 3,119 | 3,135 | 2,783 | 2,761 | 3,424 |



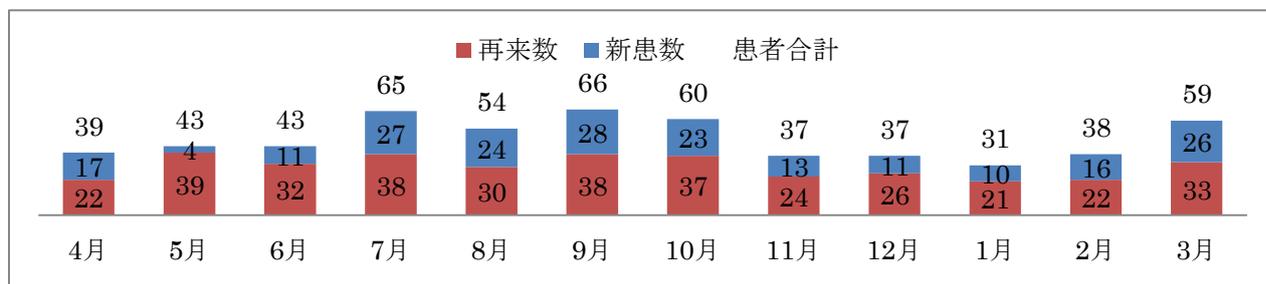
【循環器内科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新患者数 | 63 | 56 | 52 | 54 | 72 | 40 | 53 | 57 | 57 | 62 | 170 | 79 |
| 再来患者数 | 1,576 | 1,717 | 1,625 | 1,687 | 1,680 | 1,584 | 1,723 | 2,127 | 2,191 | 1,739 | 1,653 | 1,819 |
| 患者合計 | 1,639 | 1,773 | 1,677 | 1,741 | 1,752 | 1,624 | 1,776 | 2,184 | 2,248 | 1,801 | 1,823 | 1,898 |



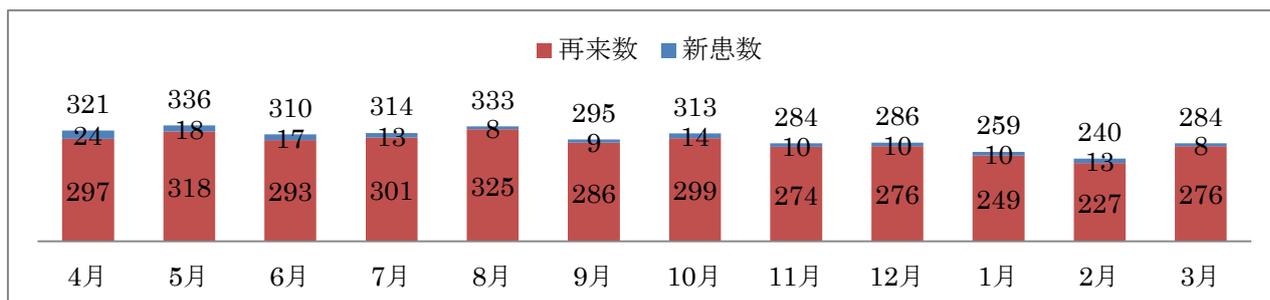
【整形外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 新患者数 | 17 | 4 | 11 | 27 | 24 | 28 | 23 | 13 | 11 | 10 | 16 | 26 |
| 再来患者数 | 22 | 39 | 32 | 38 | 30 | 38 | 37 | 24 | 26 | 21 | 22 | 33 |
| 患者合計 | 39 | 43 | 43 | 65 | 54 | 66 | 60 | 37 | 37 | 31 | 38 | 59 |



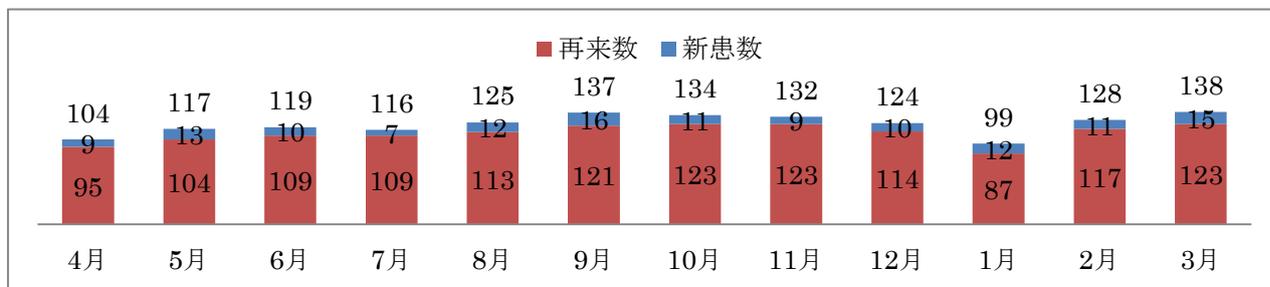
【ペイン】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新患者数 | 24 | 18 | 17 | 13 | 8 | 9 | 14 | 10 | 10 | 10 | 13 | 8 |
| 再来患者数 | 297 | 318 | 293 | 301 | 325 | 286 | 299 | 274 | 276 | 249 | 227 | 276 |
| 患者合計 | 321 | 336 | 310 | 314 | 333 | 295 | 313 | 284 | 286 | 259 | 240 | 284 |



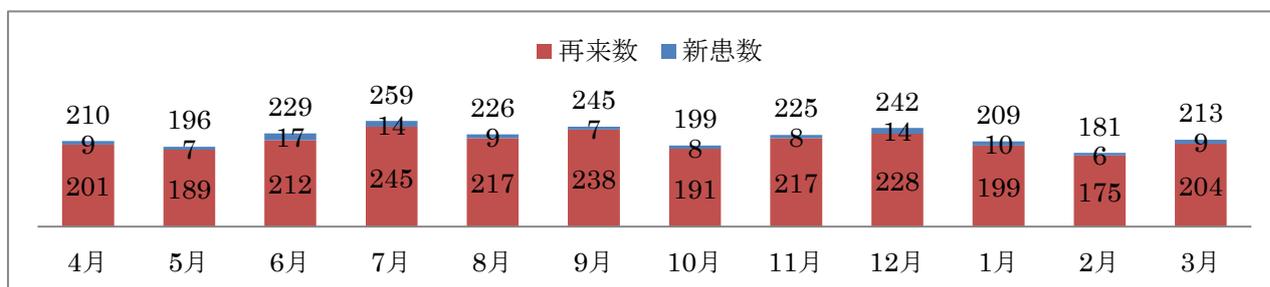
【形成外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 新患者数 | 9 | 13 | 10 | 7 | 12 | 16 | 11 | 9 | 10 | 12 | 11 | 15 |
| 再来患者数 | 95 | 104 | 109 | 109 | 113 | 121 | 123 | 123 | 114 | 87 | 117 | 123 |
| 患者合計 | 104 | 117 | 119 | 116 | 125 | 137 | 134 | 132 | 124 | 99 | 128 | 138 |



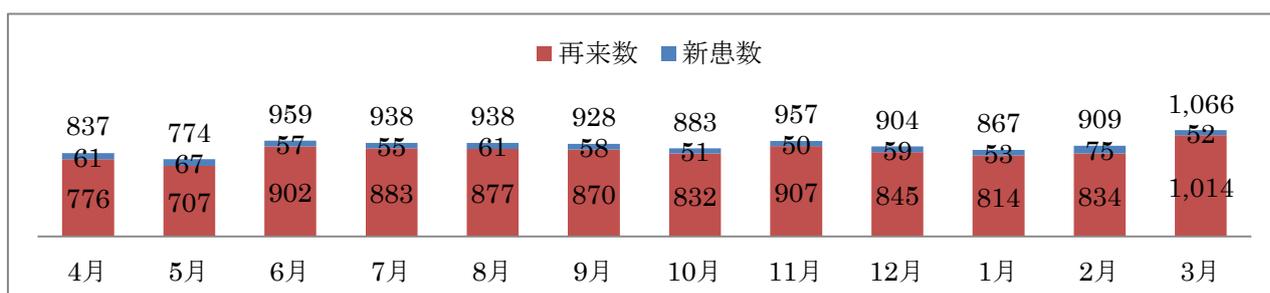
【神経内科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新患者数 | 9 | 7 | 17 | 14 | 9 | 7 | 8 | 8 | 14 | 10 | 6 | 9 |
| 再来患者数 | 201 | 189 | 212 | 245 | 217 | 238 | 191 | 217 | 228 | 199 | 175 | 204 |
| 患者合計 | 210 | 196 | 229 | 259 | 226 | 245 | 199 | 225 | 242 | 209 | 181 | 213 |



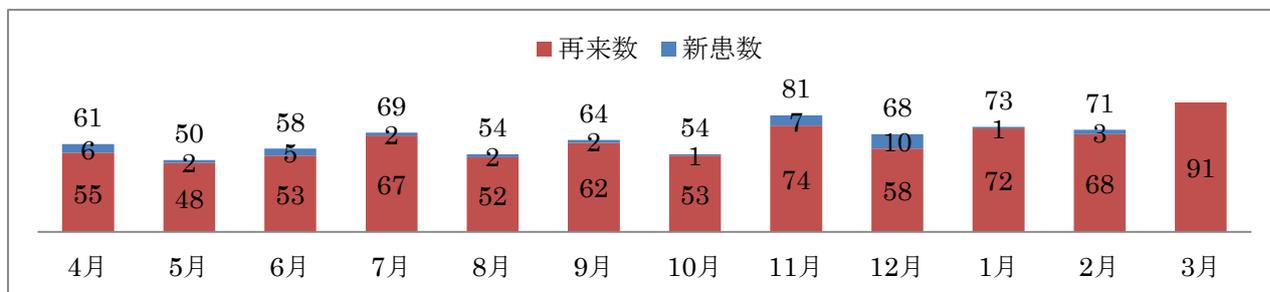
【消化器内科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 新患者数 | 61 | 67 | 57 | 55 | 61 | 58 | 51 | 50 | 59 | 53 | 75 | 52 |
| 再来患者数 | 776 | 707 | 902 | 883 | 877 | 870 | 832 | 907 | 845 | 814 | 834 | 1,014 |
| 患者合計 | 837 | 774 | 959 | 938 | 938 | 928 | 883 | 957 | 904 | 867 | 909 | 1,066 |



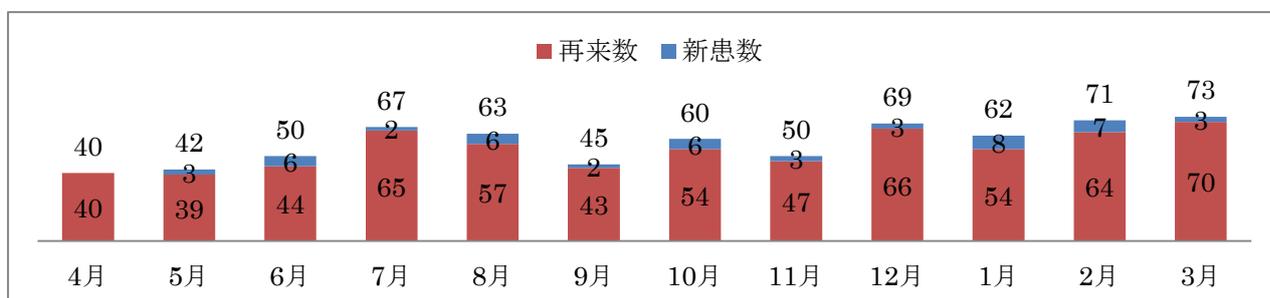
【心臓血管外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 新患数 | 6 | 2 | 5 | 2 | 2 | 2 | 1 | 7 | 10 | 1 | 3 | 7 |
| 再来数 | 55 | 48 | 53 | 67 | 52 | 62 | 53 | 74 | 58 | 72 | 68 | 91 |
| 患者合計 | 61 | 50 | 58 | 69 | 54 | 64 | 54 | 81 | 68 | 73 | 71 | 98 |



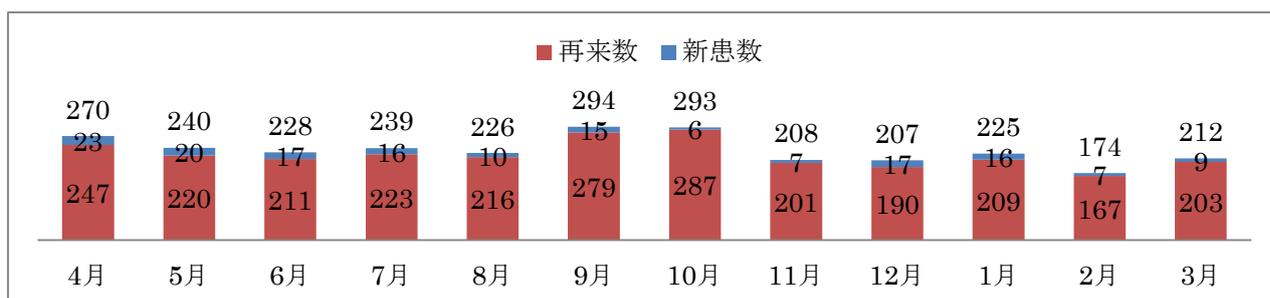
【消化器外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 新患数 | | 3 | 6 | 2 | 6 | 2 | 6 | 3 | 3 | 8 | 7 | 3 |
| 再来数 | 40 | 39 | 44 | 65 | 57 | 43 | 54 | 47 | 66 | 54 | 64 | 70 |
| 患者合計 | 40 | 42 | 50 | 67 | 63 | 45 | 60 | 50 | 69 | 62 | 71 | 73 |



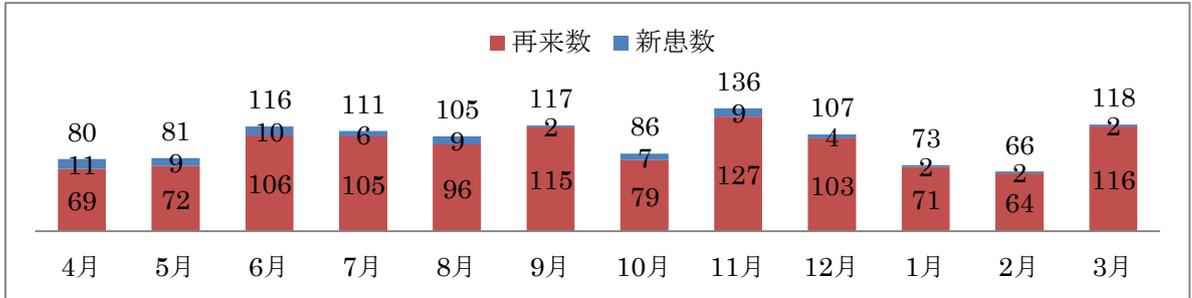
【頭頸科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新患数 | 23 | 20 | 17 | 16 | 10 | 15 | 6 | 7 | 17 | 16 | 7 | 9 |
| 再来数 | 247 | 220 | 211 | 223 | 216 | 279 | 287 | 201 | 190 | 209 | 167 | 203 |
| 患者合計 | 270 | 240 | 228 | 239 | 226 | 294 | 293 | 208 | 207 | 225 | 174 | 212 |



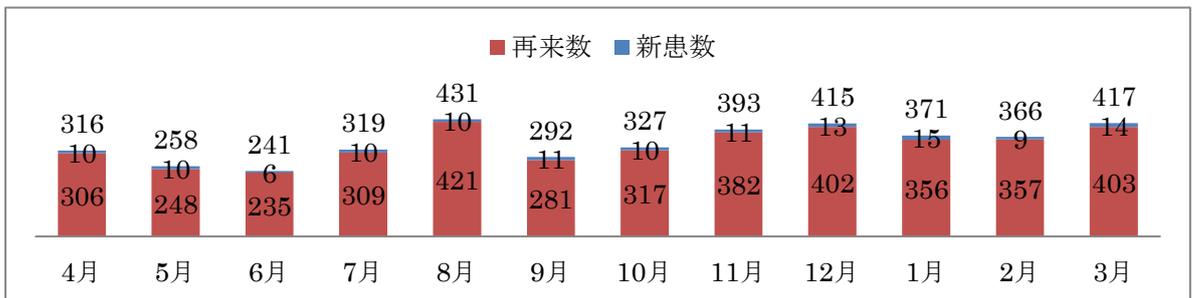
【乳腺外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|
| 新患者数 | 11 | 9 | 10 | 6 | 9 | 2 | 7 | 9 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| 再来患者数 | 69 | 72 | 106 | 105 | 96 | 115 | 79 | 127 | 103 | 71 | 64 | 116 |
| 患者合計 | 80 | 81 | 116 | 111 | 105 | 117 | 86 | 136 | 107 | 73 | 66 | 118 |



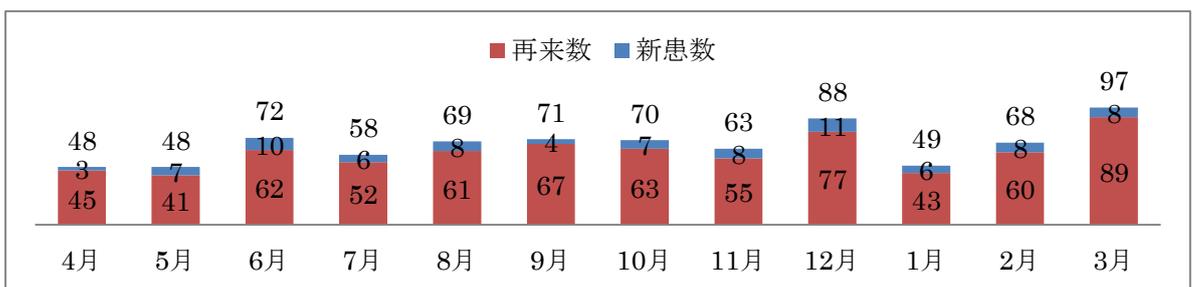
【放射線治療科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新患者数 | 10 | 10 | 6 | 10 | 10 | 11 | 10 | 11 | 13 | 15 | 9 | 14 |
| 再来患者数 | 306 | 248 | 235 | 309 | 421 | 281 | 317 | 382 | 402 | 356 | 357 | 403 |
| 患者合計 | 316 | 258 | 241 | 319 | 431 | 292 | 327 | 393 | 415 | 371 | 366 | 417 |



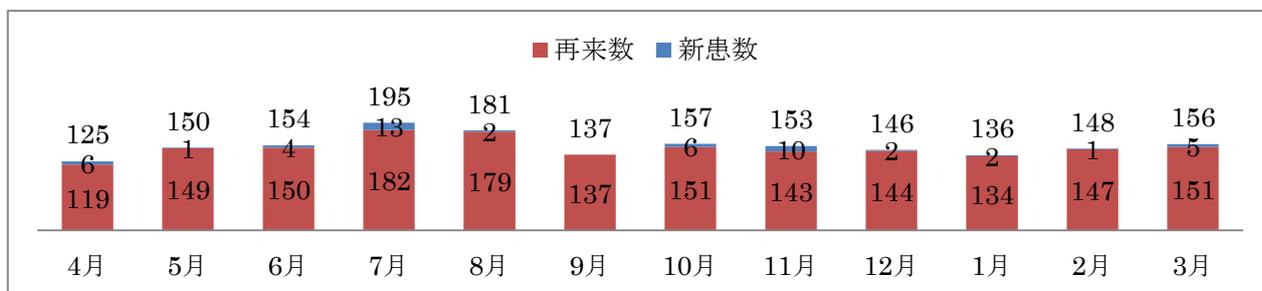
【婦人科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 新患者数 | 3 | 7 | 10 | 6 | 8 | 4 | 7 | 8 | 11 | 6 | 8 | 8 |
| 再来患者数 | 45 | 41 | 62 | 52 | 61 | 67 | 63 | 55 | 77 | 43 | 60 | 89 |
| 患者合計 | 48 | 48 | 72 | 58 | 69 | 71 | 70 | 63 | 88 | 49 | 68 | 97 |



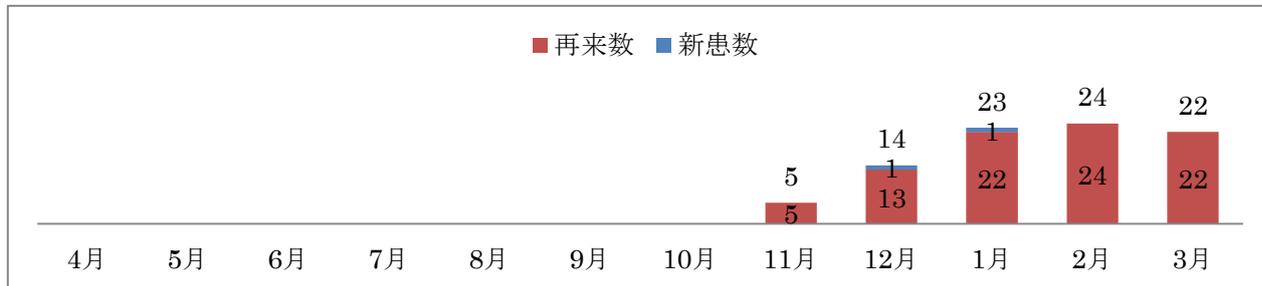
【脳神経外科脊椎】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新患者数 | 6 | 1 | 4 | 13 | 2 | | 6 | 10 | 2 | 2 | 1 | 5 |
| 再来数 | 119 | 149 | 150 | 182 | 179 | 137 | 151 | 143 | 144 | 134 | 147 | 151 |
| 患者合計 | 125 | 150 | 154 | 195 | 181 | 137 | 157 | 153 | 146 | 136 | 148 | 156 |



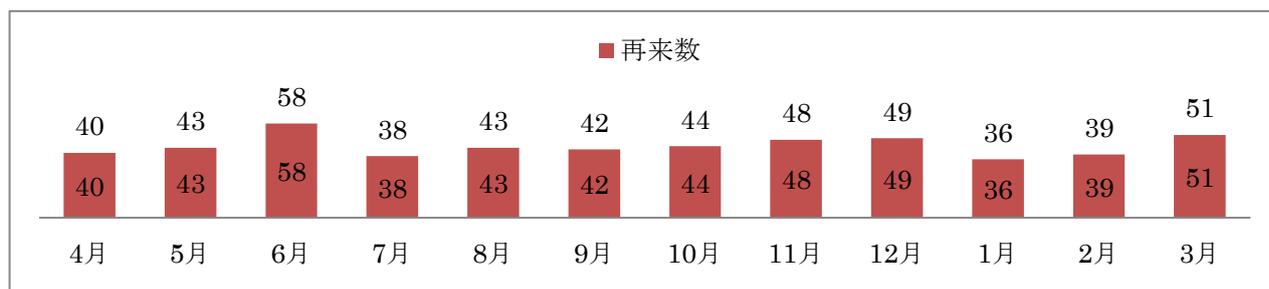
【糖尿病内科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 新患者数 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| 再来数 | | | | | | | | 5 | 13 | 22 | 24 | 22 |
| 患者合計 | | | | | | | | 5 | 14 | 23 | 24 | 22 |



【病理診断科】

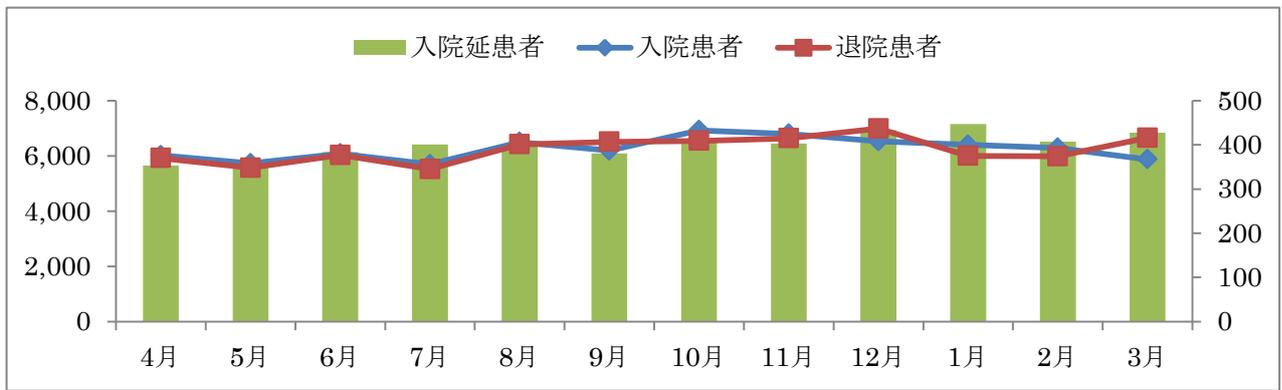
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 新患者数 | | | | | | | | | | | | |
| 再来数 | 40 | 43 | 58 | 38 | 43 | 42 | 44 | 48 | 49 | 36 | 39 | 51 |
| 患者合計 | 40 | 43 | 58 | 38 | 43 | 42 | 44 | 48 | 49 | 36 | 39 | 51 |



2) 入院患者

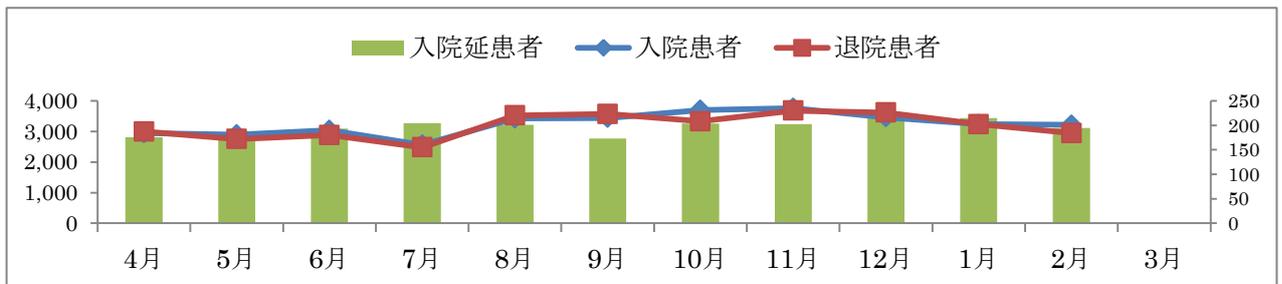
【病院全体】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 入院患者 | 376 | 358 | 380 | 356 | 406 | 387 | 433 | 425 | 408 | 400 | 393 | 367 |
| 退院患者 | 370 | 348 | 377 | 345 | 401 | 407 | 409 | 415 | 437 | 375 | 374 | 416 |
| 入院延患者 | 5,652 | 5,836 | 6,140 | 6,412 | 6,370 | 6,089 | 6,589 | 6,448 | 6,940 | 7,153 | 6,521 | 6,845 |



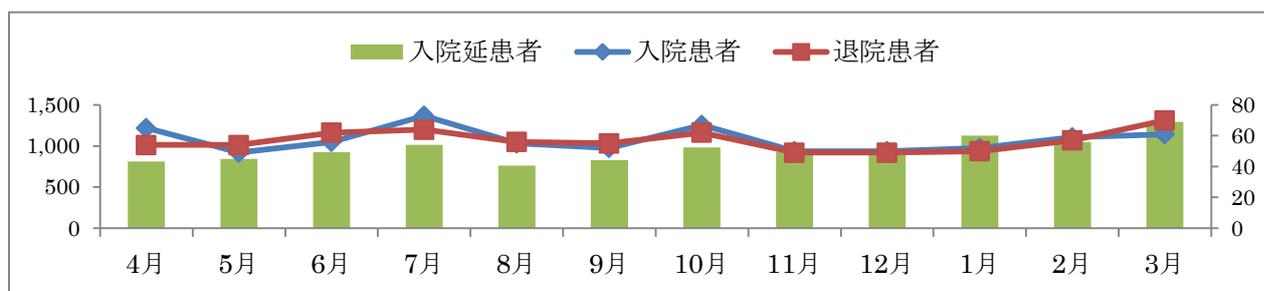
【脳神経外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 入院患者 | 184 | 181 | 190 | 160 | 214 | 215 | 231 | 235 | 216 | 202 | 201 | 166 |
| 退院患者 | 187 | 172 | 180 | 155 | 220 | 223 | 208 | 230 | 226 | 202 | 184 | 189 |
| 入院延患者 | 2,807 | 2,935 | 3,095 | 3,266 | 3,215 | 2,765 | 3,263 | 3,236 | 3,469 | 3,430 | 3,117 | 3,201 |



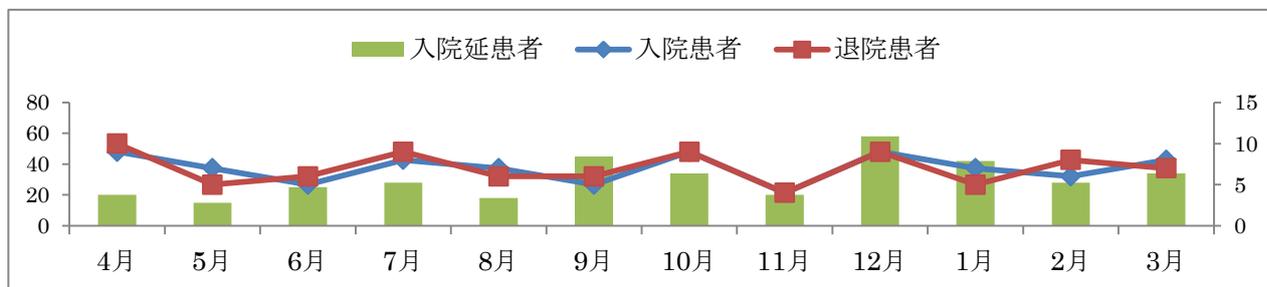
【循環器内科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|
| 入院患者 | 65 | 49 | 56 | 73 | 55 | 52 | 67 | 50 | 50 | 52 | 59 | 61 |
| 退院患者 | 54 | 54 | 62 | 64 | 56 | 55 | 62 | 49 | 49 | 50 | 57 | 70 |
| 入院延患者 | 811 | 843 | 926 | 1,012 | 761 | 826 | 981 | 928 | 944 | 1,126 | 1,050 | 1,293 |



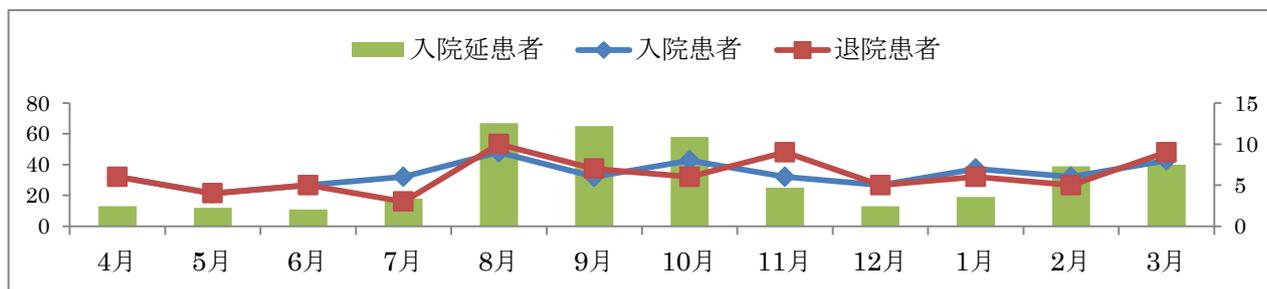
【ペイン】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 入院患者 | 9 | 7 | 5 | 8 | 7 | 5 | 9 | 4 | 9 | 7 | 6 | 8 |
| 退院患者 | 10 | 5 | 6 | 9 | 6 | 6 | 9 | 4 | 9 | 5 | 8 | 7 |
| 入院延患者 | 20 | 15 | 25 | 28 | 18 | 45 | 34 | 20 | 58 | 42 | 28 | 34 |



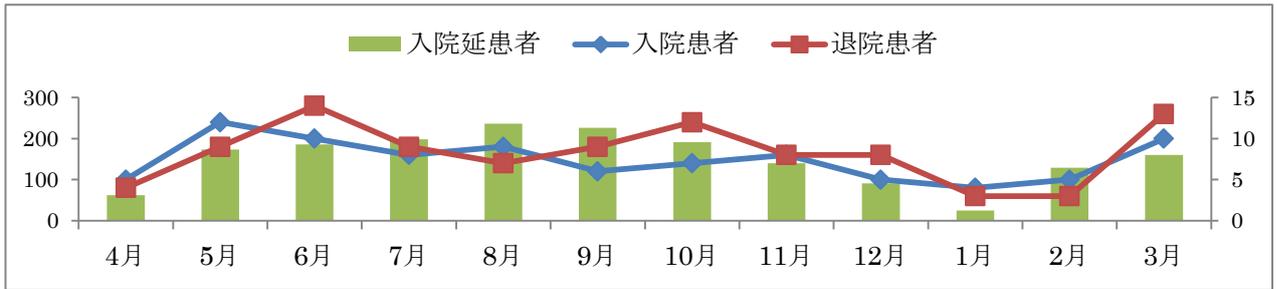
【形成外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 入院患者 | 6 | 4 | 5 | 6 | 9 | 6 | 8 | 6 | 5 | 7 | 6 | 8 |
| 退院患者 | 6 | 4 | 5 | 3 | 10 | 7 | 6 | 9 | 5 | 6 | 5 | 9 |
| 入院延患者 | 13 | 12 | 11 | 18 | 67 | 65 | 58 | 25 | 13 | 19 | 39 | 40 |



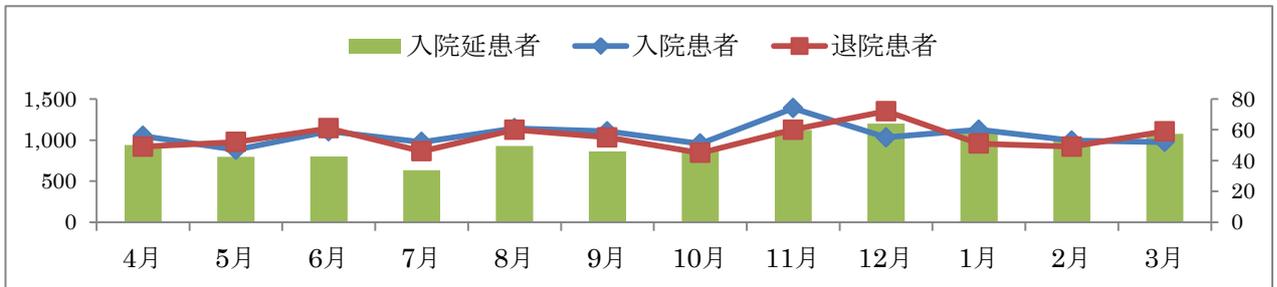
【神経内科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 入院患者 | 5 | 12 | 10 | 8 | 9 | 6 | 7 | 8 | 5 | 4 | 5 | 10 |
| 退院患者 | 4 | 9 | 14 | 9 | 7 | 9 | 12 | 8 | 8 | 3 | 3 | 13 |
| 入院延患者 | 62 | 173 | 186 | 198 | 236 | 226 | 191 | 140 | 91 | 25 | 129 | 160 |



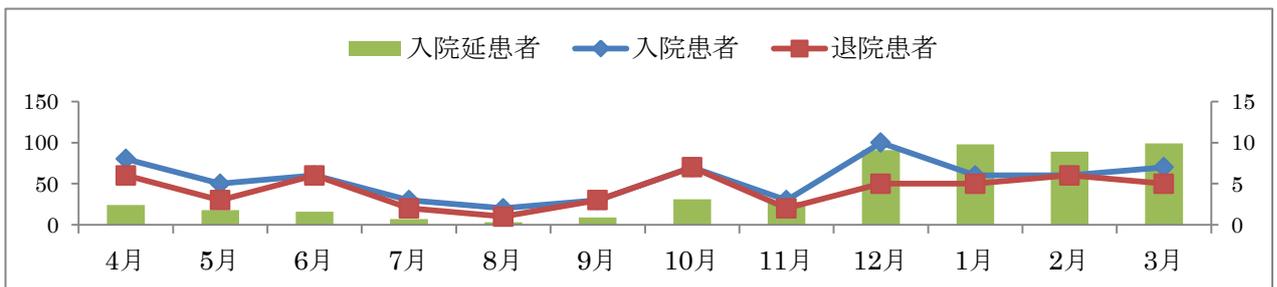
【消化器内科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 入院患者 | 56 | 47 | 59 | 52 | 61 | 59 | 51 | 74 | 55 | 60 | 53 | 52 |
| 退院患者 | 49 | 52 | 61 | 46 | 60 | 55 | 45 | 60 | 72 | 51 | 49 | 59 |
| 入院延患者 | 938 | 798 | 799 | 634 | 927 | 862 | 876 | 1,123 | 1,200 | 1,078 | 1,017 | 1,077 |



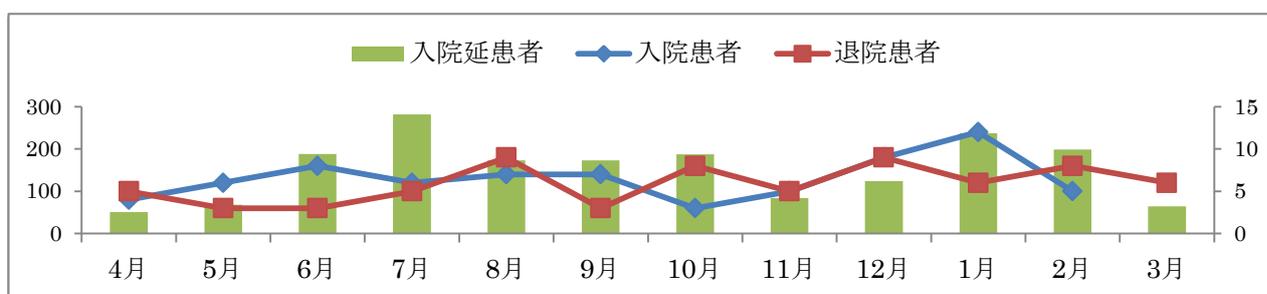
【心臓血管外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 入院患者 | 8 | 5 | 6 | 3 | 2 | 3 | 7 | 3 | 10 | 6 | 6 | 7 |
| 退院患者 | 6 | 3 | 6 | 2 | 1 | 3 | 7 | 2 | 5 | 5 | 6 | 5 |
| 入院延患者 | 24 | 18 | 16 | 7 | 3 | 9 | 31 | 28 | 91 | 98 | 89 | 99 |



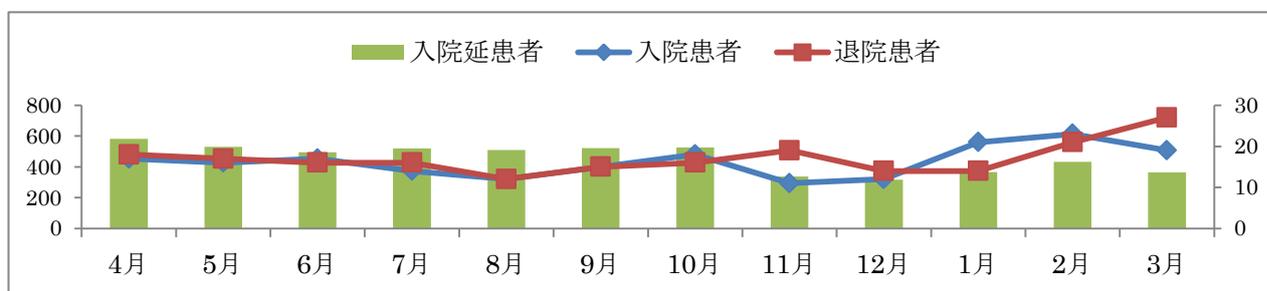
【消化器外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 入院患者 | 6 | 13 | 9 | 10 | 6 | 7 | 12 | 10 | 14 | 16 | 16 | 16 |
| 退院患者 | 12 | 13 | 11 | 15 | 5 | 12 | 14 | 16 | 15 | 15 | 20 | 12 |
| 入院延患者 | 184 | 232 | 217 | 244 | 166 | 281 | 247 | 227 | 304 | 436 | 261 | 323 |



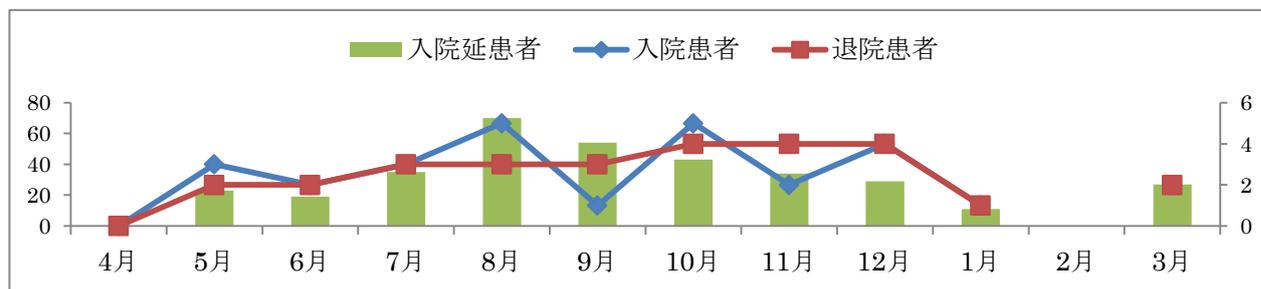
【頭頸科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 入院患者 | 17 | 16 | 17 | 14 | 12 | 15 | 18 | 11 | 12 | 21 | 23 | 19 |
| 退院患者 | 18 | 17 | 16 | 16 | 12 | 15 | 16 | 19 | 14 | 14 | 21 | 27 |
| 入院延患者 | 582 | 530 | 495 | 519 | 510 | 521 | 526 | 337 | 317 | 366 | 432 | 364 |



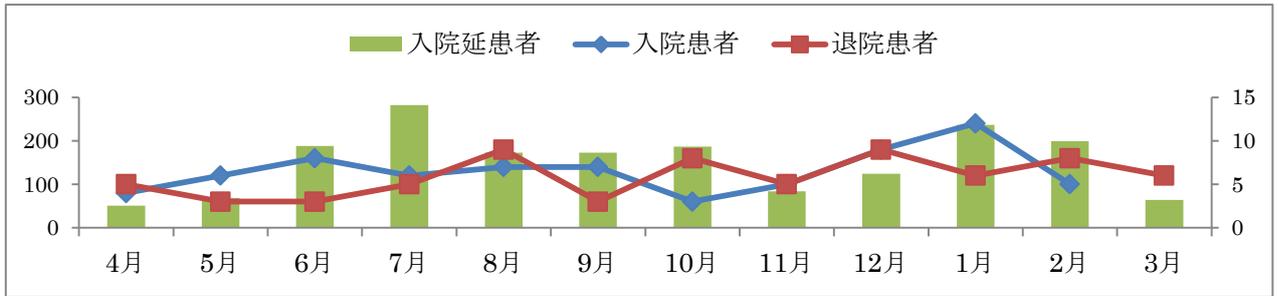
【乳腺外科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 入院患者 | 0 | 3 | 2 | 3 | 5 | 1 | 5 | 2 | 4 | 1 | | 2 |
| 退院患者 | 0 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 1 | | 2 |
| 入院延患者 | 0 | 23 | 19 | 35 | 70 | 54 | 43 | 34 | 29 | 11 | | 27 |



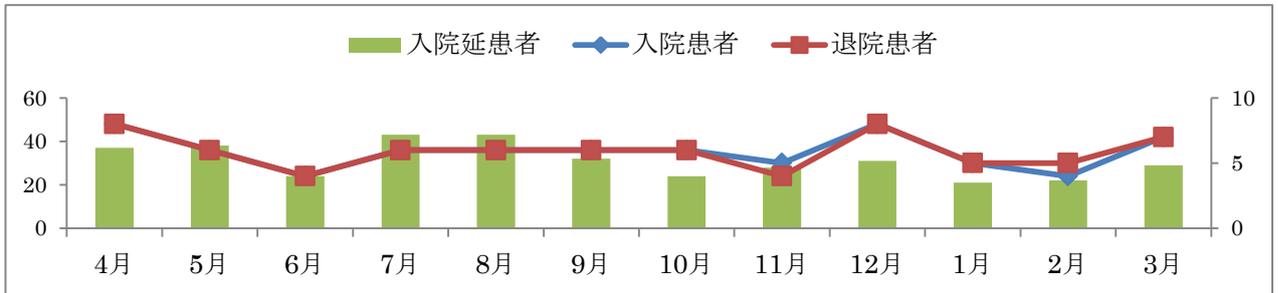
【放射線治療科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 入院患者 | 4 | 6 | 8 | 6 | 7 | 7 | 3 | 5 | 9 | 12 | 5 | |
| 退院患者 | 5 | 3 | 3 | 5 | 9 | 3 | 8 | 5 | 9 | 6 | 8 | 6 |
| 入院延患者 | 51 | 68 | 188 | 282 | 173 | 173 | 187 | 84 | 124 | 237 | 199 | 64 |



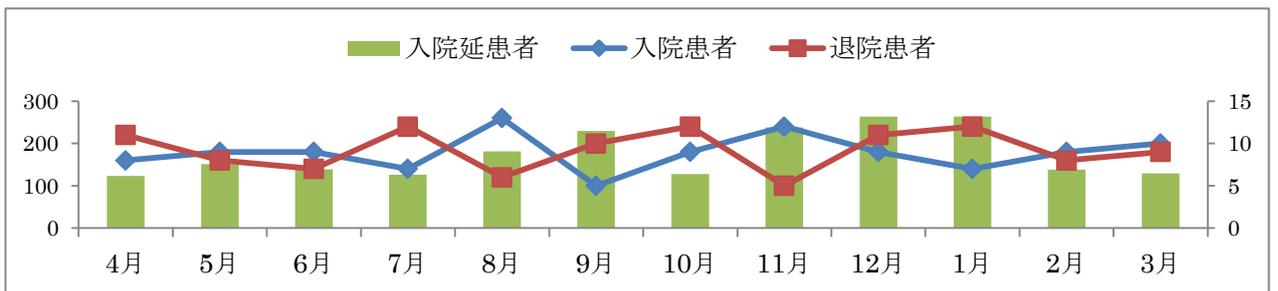
【婦人科】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 入院患者 | 8 | 6 | 4 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 8 | 5 | 4 | 7 |
| 退院患者 | 8 | 6 | 4 | 6 | 6 | 6 | 6 | 4 | 8 | 5 | 5 | 7 |
| 入院延患者 | 37 | 38 | 24 | 43 | 43 | 32 | 24 | 28 | 31 | 21 | 22 | 29 |



【脳神経外科脊椎】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 入院患者 | 8 | 9 | 9 | 7 | 13 | 5 | 9 | 12 | 9 | 7 | 9 | 10 |
| 退院患者 | 11 | 8 | 7 | 12 | 6 | 10 | 12 | 5 | 11 | 12 | 8 | 9 |
| 入院延患者 | 123 | 151 | 139 | 126 | 181 | 230 | 128 | 238 | 264 | 264 | 138 | 129 |



3) 病棟実績

【病院全体】

| | 分類 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 4階 SCU(18床) | 入院 | 47 | 49 | 48 | 53 | 61 | 46 | 47 | 47 | 50 | 64 | 82 | 48 | 642 |
| | 退院 | 2 | 2 | 1 | 0 | 3 | 5 | 5 | 2 | 4 | 4 | 4 | 4 | 36 |
| | 延 | 359 | 369 | 360 | 463 | 465 | 448 | 463 | 450 | 552 | 556 | 501 | 554 | 5,540 |
| 5階病棟(60床) | 入院 | 121 | 123 | 131 | 95 | 127 | 155 | 151 | 151 | 139 | 124 | 134 | 114 | 1,565 |
| | 退院 | 111 | 92 | 93 | 73 | 101 | 139 | 108 | 113 | 90 | 100 | 89 | 107 | 1,216 |
| | 延 | 1,647 | 1,730 | 1,666 | 1,675 | 1,672 | 1,524 | 1,644 | 1,587 | 1,702 | 1,726 | 1,550 | 1,565 | 19,688 |
| 6階東病棟(35床) | 入院 | 42 | 44 | 42 | 39 | 48 | 35 | 57 | 57 | 64 | 57 | 53 | 43 | 581 |
| | 退院 | 52 | 55 | 43 | 51 | 41 | 36 | 64 | 64 | 93 | 63 | 70 | 78 | 710 |
| | 延 | 953 | 1,025 | 1,026 | 1,010 | 1,029 | 997 | 1,058 | 935 | 1,071 | 1,209 | 1,150 | 1,112 | 12,575 |
| 6階西病棟(46床) | 入院 | 67 | 62 | 72 | 81 | 71 | 69 | 78 | 76 | 72 | 75 | 69 | 67 | 859 |
| | 退院 | 58 | 67 | 76 | 76 | 74 | 71 | 74 | 66 | 77 | 52 | 69 | 64 | 824 |
| | 延 | 1,099 | 1,062 | 1,043 | 1,052 | 1,115 | 1,108 | 1,172 | 1,226 | 1,242 | 1,223 | 1,147 | 1,271 | 13,760 |
| 7階東病棟(49床) | 入院 | 88 | 69 | 78 | 81 | 90 | 73 | 94 | 85 | 78 | 73 | 77 | 76 | 962 |
| | 退院 | 97 | 72 | 92 | 88 | 106 | 89 | 96 | 95 | 80 | 71 | 78 | 78 | 1,042 |
| | 延 | 894 | 919 | 1,197 | 1,319 | 1,226 | 1,172 | 1,357 | 1,247 | 1,344 | 1,383 | 1,216 | 1,333 | 14,607 |
| 7階西病棟(35床) | 入院 | 11 | 11 | 9 | 7 | 8 | 9 | 7 | 9 | 5 | 7 | 7 | 19 | 109 |
| | 退院 | 50 | 60 | 72 | 57 | 76 | 67 | 61 | 75 | 92 | 85 | 63 | 85 | 843 |
| | 延 | 705 | 731 | 848 | 893 | 865 | 840 | 899 | 1,003 | 1,029 | 1,056 | 957 | 1,010 | 10,836 |
| 全体(243床) | 入院 | 376 | 358 | 380 | 356 | 405 | 387 | 434 | 425 | 408 | 400 | 422 | 367 | 4,718 |
| | 退院 | 370 | 348 | 377 | 345 | 401 | 407 | 408 | 415 | 436 | 375 | 373 | 416 | 4,671 |
| | 延 | 5,657 | 5,836 | 6,140 | 6,412 | 6,372 | 6,089 | 6,593 | 6,448 | 6,940 | 7,153 | 6,521 | 6,845 | 77,006 |

【病棟別平均在院日数】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 4階 SCU | 14.7 | 14.5 | 14.7 | 17.5 | 14.5 | 17.6 | 17.8 | 18.4 | 20.4 | 16.4 | 11.7 | 21.3 | 16.3 |
| 5階病棟 | 14.2 | 16.1 | 14.9 | 19.9 | 14.7 | 10.4 | 12.7 | 12.0 | 14.9 | 15.4 | 13.9 | 14.2 | 14.2 |
| 6階東病棟 | 20.3 | 20.7 | 24.1 | 22.4 | 23.1 | 28.1 | 17.5 | 15.5 | 13.6 | 20.2 | 18.7 | 18.4 | 19.5 |
| 6階西病棟 | 17.6 | 16.5 | 14.1 | 13.4 | 15.4 | 15.8 | 15.4 | 17.3 | 16.7 | 19.3 | 16.6 | 19.4 | 16.4 |
| 7階東病棟 | 9.7 | 13.0 | 14.1 | 15.6 | 12.5 | 14.5 | 14.3 | 13.9 | 17.0 | 19.2 | 15.7 | 17.3 | 14.6 |
| 7階西病棟 | 23.1 | 20.6 | 20.9 | 27.9 | 20.6 | 22.1 | 26.4 | 23.9 | 21.2 | 23.0 | 27.3 | 19.4 | 22.8 |
| 全体 | 15.2 | 16.5 | 16.2 | 18.3 | 15.8 | 15.3 | 15.7 | 15.4 | 16.4 | 18.5 | 16.4 | 17.5 | 16.4 |

4) 救急実績

【救急部件数】

| 科 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 脳神経外科 | 170 | 196 | 162 | 139 | 176 | 150 | 149 | 150 | 174 | 153 | 155 | 158 | 1,932 |
| 循環器内科 | 35 | 25 | 19 | 31 | 24 | 29 | 39 | 27 | 29 | 27 | 45 | 31 | 361 |
| ペイン | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 形成外科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 神経内科 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 消化器内科 | 10 | 7 | 10 | 13 | 8 | 16 | 12 | 11 | 12 | 8 | 17 | 9 | 133 |
| 心臓血管外科 | 4 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | 4 | 3 | 2 | 23 |
| 消化器外科 | 1 | 4 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 5 | 4 | 0 | 28 |
| 頭頸科 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 放射線治療科 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 6 |
| 婦人科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 脳神経外科脊椎 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 計 | 222 | 237 | 194 | 187 | 212 | 200 | 204 | 195 | 222 | 197 | 225 | 201 | 2,496 |

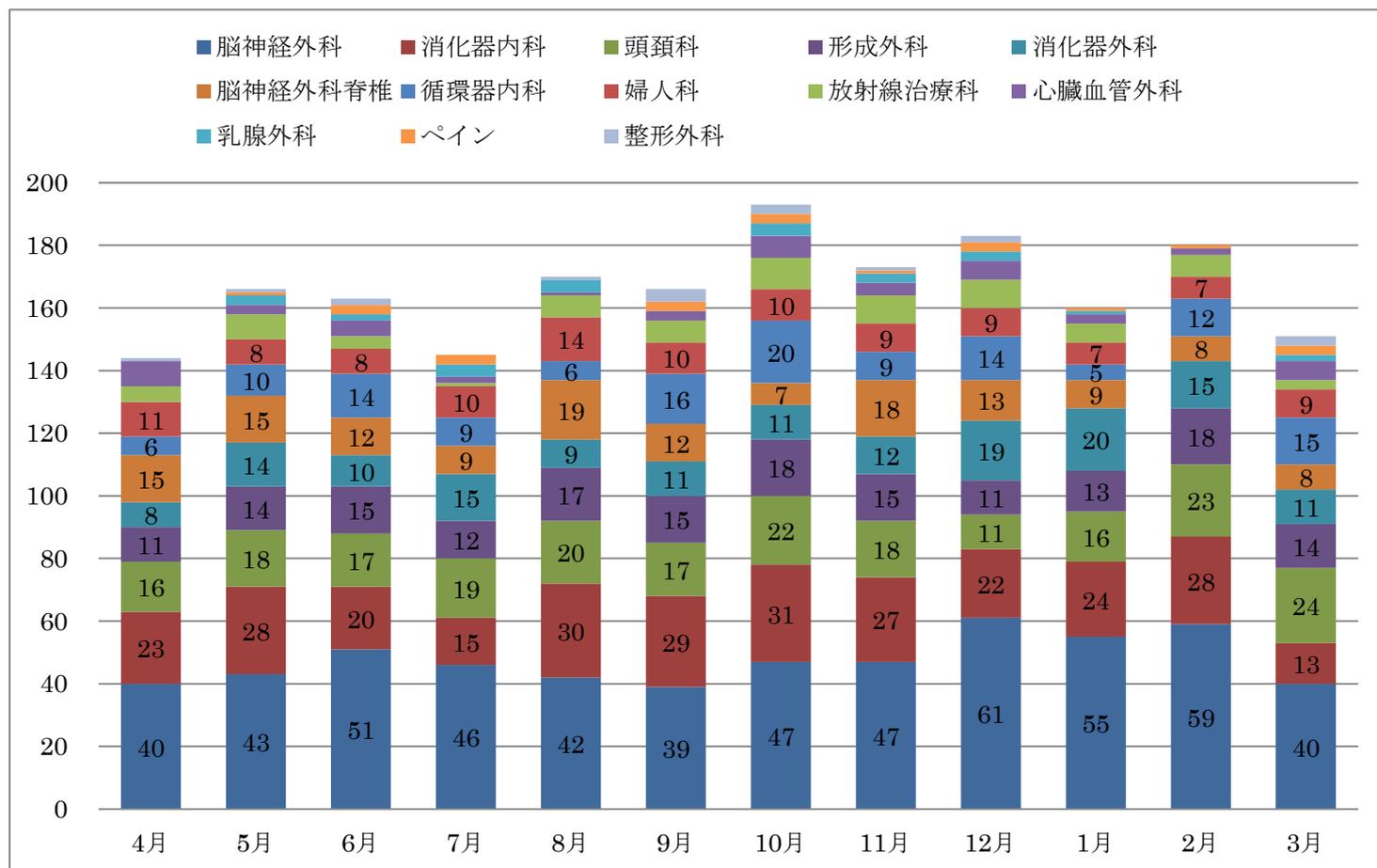
【救急車・Warkin 件数】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 救急車 | 222 | 237 | 194 | 187 | 212 | 200 | 204 | 195 | 222 | 197 | 225 | 201 | 2,496 |
| Wark-in | 183 | 194 | 175 | 215 | 247 | 215 | 188 | 159 | 179 | 181 | 317 | 220 | 2,473 |
| 計 | 405 | 431 | 369 | 402 | 459 | 415 | 392 | 354 | 401 | 378 | 542 | 421 | 4,969 |

5) 手術実績

【手術件数(術場外 AG 室、内視鏡室、外来処置室を含む)】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 脳神経外科 | 40 | 43 | 51 | 46 | 42 | 39 | 47 | 47 | 61 | 55 | 59 | 40 | 570 |
| 循環器内科 | 6 | 10 | 14 | 9 | 6 | 16 | 20 | 9 | 14 | 5 | 12 | 15 | 136 |
| 整形外科 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 4 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | 18 |
| ペイン | 0 | 1 | 3 | 3 | 0 | 3 | 3 | 1 | 3 | 1 | 1 | 3 | 22 |
| 形成外科 | 11 | 14 | 15 | 12 | 17 | 15 | 18 | 15 | 11 | 13 | 18 | 14 | 173 |
| 消化器内科 | 23 | 28 | 20 | 15 | 30 | 29 | 31 | 27 | 22 | 24 | 28 | 13 | 290 |
| 心臓血管外科 | 8 | 3 | 5 | 2 | 1 | 3 | 7 | 4 | 6 | 3 | 2 | 6 | 50 |
| 消化器外科 | 8 | 14 | 10 | 15 | 9 | 11 | 11 | 12 | 19 | 20 | 15 | 11 | 155 |
| 頭頸科 | 16 | 18 | 17 | 19 | 20 | 17 | 22 | 18 | 11 | 16 | 23 | 24 | 221 |
| 乳腺外科 | 0 | 3 | 2 | 4 | 4 | 0 | 4 | 3 | 3 | 1 | 0 | 2 | 26 |
| 放射線治療科 | 5 | 8 | 4 | 1 | 7 | 7 | 10 | 9 | 9 | 6 | 7 | 3 | 76 |
| 婦人科 | 11 | 8 | 8 | 10 | 14 | 10 | 10 | 9 | 9 | 7 | 7 | 9 | 112 |
| 脳神経外科脊椎 | 15 | 15 | 12 | 9 | 19 | 12 | 7 | 18 | 13 | 9 | 8 | 8 | 145 |
| 計 | 144 | 166 | 163 | 145 | 170 | 166 | 193 | 173 | 183 | 160 | 180 | 151 | 1,994 |



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 麻酔科管理症例 | 73 | 70 | 77 | 80 | 78 | 66 | 83 | 83 | 96 | 83 | 80 | 83 | 952 |

【主要算定手技】

| 医事算定手技 | 計 |
|---------------------------|-----|
| 脳動脈瘤頸部クリッピング | 223 |
| 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満) | 116 |
| 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術 | 71 |
| 経皮的冠動脈ステント留置術(その他) | 63 |
| 頭蓋内腫瘍摘出術(その他) | 53 |
| 内視鏡的消化管止血術 | 37 |
| 動脈血栓内膜摘出術(内頸動脈) | 34 |
| 内視鏡的胆道ステント留置術 | 32 |
| 抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置 | 31 |
| 腹腔鏡下胆嚢摘出術 | 30 |
| 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm未満) | 28 |
| 中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他) | 25 |
| 経皮的椎体形成術 | 22 |
| 水頭症手術(シャント手術) | 21 |
| 経皮的カテーテル心筋焼灼術 | 19 |
| 内視鏡的乳頭切開術(胆道碎石術を伴う) | 19 |
| 下肢静脈瘤手術(抜去切除術) | 18 |
| 頭蓋内血腫除去術(開頭)(脳内) | 18 |
| 頸部郭清術(片) | 46 |
| 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 | 16 |

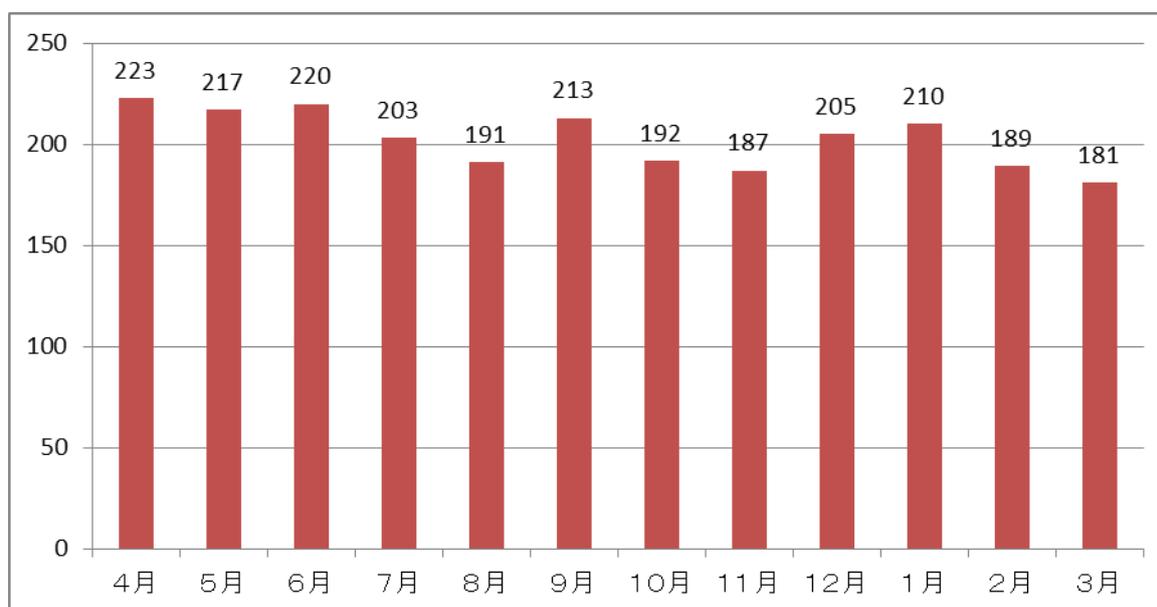
【術場外検査等実績】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| AG | 4 | 3 | 5 | 2 | 5 | 2 | 6 | 3 | 5 | 0 | 5 | 1 | 41 |
| BOT | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 8 |
| CAG | 17 | 5 | 19 | 17 | 13 | 9 | 15 | 10 | 10 | 8 | 7 | 9 | 139 |
| EPS | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 下肢造影 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 右心カテ | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| GTF | 95 | 77 | 125 | 112 | 120 | 116 | 135 | 140 | 122 | 107 | 107 | 112 | 1368 |
| CF | 43 | 45 | 68 | 67 | 67 | 49 | 39 | 61 | 56 | 47 | 52 | 53 | 647 |

5) 紹介・逆紹介実績

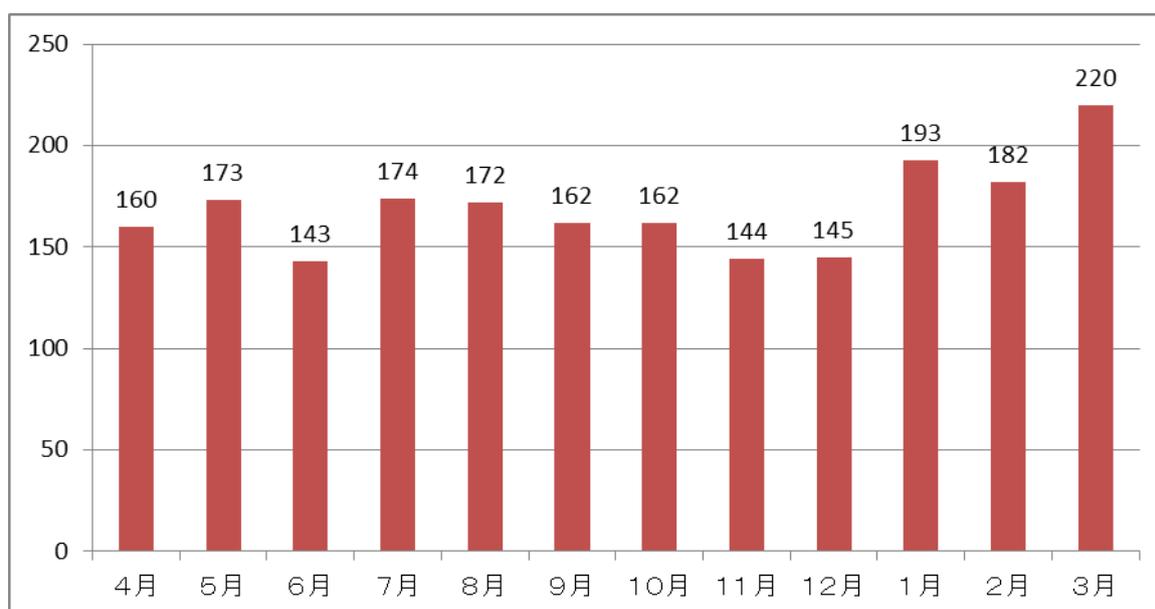
【紹介患者数】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 脳神経外科 | 83 | 82 | 91 | 78 | 86 | 96 | 83 | 85 | 76 | 75 | 71 | 53 | 959 |
| 救急 | 28 | 35 | 30 | 25 | 25 | 32 | 28 | 27 | 29 | 39 | 32 | 23 | 353 |
| 消化器内科 | 27 | 21 | 20 | 21 | 15 | 20 | 16 | 13 | 18 | 18 | 19 | 20 | 228 |
| 循環器内科 | 18 | 21 | 19 | 19 | 24 | 15 | 24 | 12 | 14 | 20 | 16 | 25 | 227 |
| 放射線治療科 | 12 | 11 | 10 | 12 | 9 | 11 | 14 | 11 | 15 | 18 | 12 | 13 | 148 |
| 頭頸部外科 | 24 | 21 | 14 | 15 | 10 | 9 | 4 | 9 | 10 | 13 | 7 | 9 | 145 |
| 神経内科 | 7 | 7 | 11 | 16 | 5 | 10 | 6 | 8 | 10 | 8 | 2 | 11 | 101 |
| ペインクリニック | 12 | 9 | 10 | 4 | 6 | 4 | 9 | 8 | 8 | 5 | 11 | 5 | 91 |
| 形成外科 | 4 | 3 | 4 | 5 | 5 | 4 | 3 | 2 | 6 | 3 | 7 | 5 | 51 |
| 婦人科 | 1 | 3 | 6 | 2 | 2 | 4 | 1 | 4 | 3 | 2 | 7 | 6 | 41 |
| 心臓血管外科 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 4 | 8 | 3 | 3 | 1 | 25 |
| 脳神経外科脊椎 | 2 | 1 | | 1 | | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | | 6 | 22 |
| 消化器外科 | 1 | 2 | 2 | 2 | | 2 | 1 | | 3 | 3 | 1 | 2 | 19 |
| 乳腺外科 | 3 | | 1 | 1 | 2 | 2 | | 1 | | | | | 10 |
| 放射線診療科 | | | 1 | | 1 | 1 | | | 3 | | 1 | 1 | 8 |
| 腫瘍内科 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 2 |
| 放射線診断科 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 計 | 223 | 217 | 220 | 203 | 191 | 213 | 192 | 187 | 205 | 210 | 189 | 181 | 2,431 |



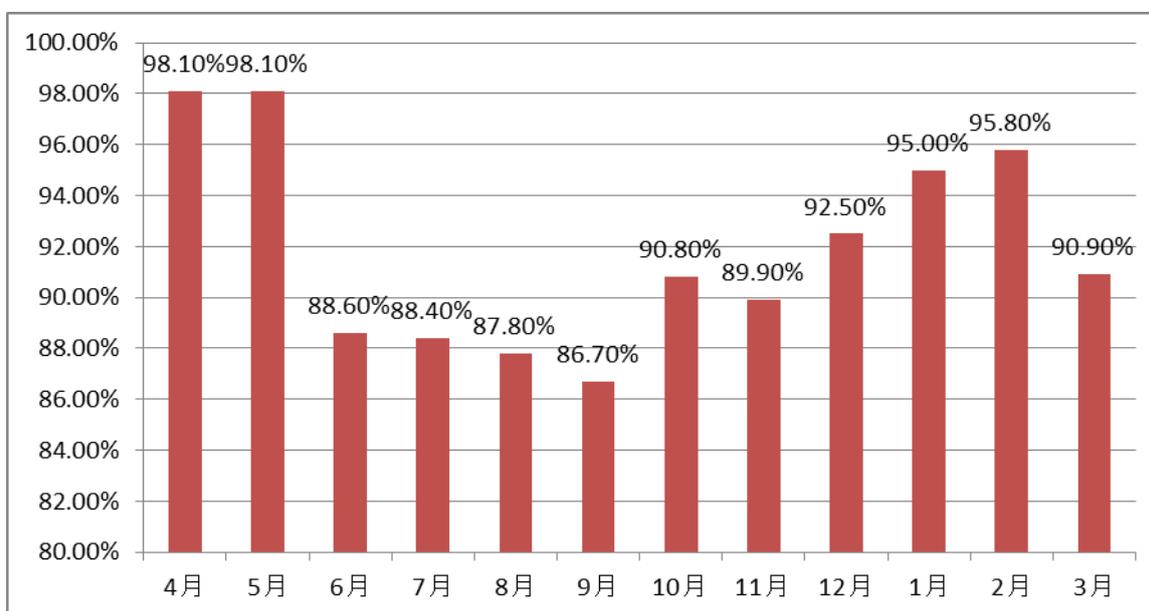
【逆紹介患者数】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 脳神経外科 | 78 | 93 | 67 | 86 | 86 | 69 | 72 | 76 | 57 | 88 | 82 | 73 | 927 |
| 救急 | 19 | 12 | 8 | 10 | 21 | 20 | 12 | 8 | 10 | 12 | 10 | 10 | 152 |
| 消化器内科 | 20 | 24 | 21 | 21 | 19 | 22 | 20 | 27 | 28 | 33 | 24 | 26 | 285 |
| 循環器内科 | 20 | 20 | 23 | 27 | 29 | 26 | 26 | 11 | 19 | 29 | 26 | 30 | 286 |
| 放射線治療科 | 1 | 2 | 2 | 2 | 4 | 2 | 3 | 3 | 3 | 9 | 4 | 4 | 39 |
| 頭頸部外科 | 3 | 7 | 1 | 5 | 2 | 2 | 8 | 4 | 5 | 3 | 5 | 7 | 52 |
| 神経内科 | 4 | 5 | 9 | 7 | 3 | 7 | 3 | 4 | 4 | 5 | 3 | 9 | 63 |
| ペインクリニック | | 5 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | | 3 | 3 | 1 | 3 | 23 |
| 形成外科 | 1 | | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | | 2 | 1 | 16 |
| 婦人科 | 2 | 1 | 1 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | 2 | 3 | 14 |
| 心臓血管外科 | 2 | 1 | | | | 1 | 1 | | 3 | 3 | 13 | 21 | 45 |
| 脳神経外科脊椎 | 2 | 2 | 3 | 4 | | 2 | 5 | 2 | 2 | 3 | 2 | 6 | 33 |
| 消化器外科 | 5 | 1 | 3 | 3 | 1 | 4 | 3 | 5 | 4 | 2 | 7 | 3 | 41 |
| 乳腺外科 | 3 | | 1 | | 2 | 3 | | 1 | 2 | 2 | | 23 | 37 |
| 放射線診療科 | | | | 2 | 3 | | 3 | | 3 | | 1 | | 12 |
| 腫瘍内科 | | | | 2 | | | 1 | | | | | | 3 |
| 整形外科 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 糖尿病内科 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 計 | 160 | 173 | 143 | 174 | 172 | 162 | 162 | 144 | 145 | 193 | 182 | 220 | 2,030 |



【稼働率】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年度平均 |
|------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| SCU | 99.7% | 99.2% | 100.0% | 99.6% | 100.0% | 99.6% | 99.6% | 100.0% | 98.9% | 99.6% | 99.4% | 99.3% | 99.6% |
| 一般病床 | 98.0% | 97.9% | 87.0% | 86.3% | 86.0% | 84.7% | 89.2% | 88.1% | 91.5% | 94.1% | 95.2% | 89.7% | 90.4% |
| 地域包括 | 97.9% | 98.3% | 94.2% | 96.0% | 93.0% | 93.3% | 96.7% | 95.5% | 94.8% | 97.3% | 97.7% | 93.1% | 95.6% |
| 全体 | 98.1% | 98.1% | 88.6% | 88.4% | 87.8% | 86.7% | 90.8% | 89.9% | 92.5% | 95.0% | 95.8% | 90.9% | 91.7% |



部署紹介

認定看護師らは、市民講演の講師を1年間担当、市民からも好評で引き続き2018年度も担当していく。

看護研究発表会と合わせ、看護実践報告会(次ページ実践報告会 写真)の開催も行った。看護師のみでなく、介護福祉士らによる実践報告(12演題)もあり、盛況な開催となった。

【参加研修会・学会・勉強会】

組織の理解もあり、院外研修、学会、長期特定分野研修への参加率が高い。院内外で学んだ知識、技術、姿勢を患者・家族への看護に活かしていきたい。

下記に2017年度看護部院内研修参加者数、院外研修・学会参加者数を記載。

(実践報告会 風景)



○院内研修会

- ・新人看護師研修
年20回実施 延べ参加人数 853名
- ・看護部主催研修
年19回実施 延べ参加人数 338名

○院外研修会

- ・北海道看護協会主催研修 延べ参加人数 72名
- ・保健師助産師看護師実習指導講習会 1名
- 認定看護管理者教育課程ファーストレベル2名
- 認定看護管理者教育課程セカンドレベル1名
- 認定看護管理者教育課程サードレベル1名 など
- ・その他主催研修 延べ参加人数 68名
北海道病院学会主催
病院看護師のための認知症対応力向上研修
S-QUE研究会主催
重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修

○学会

延べ参加人数 40名、参加学会は以下である。
日本脳卒中学会、日本看護管理学会、日本環境感染学会、日本褥瘡学会、日本看護学会、日本がん看護学会、日本臨床腫瘍学会、日本手術看護学会、日本老年看護学会、日本パーキンソン病・運動障害疾患学会、日本脳神経看護研究学会
北海道病院学会、北海道看護研究学会、日本介護学会

【学会発表】

1.2017/6/18 北海道看護研究学会

「脳外科手術においてボディ・イメージの変容を受けた患者の思いと社会生活の現状-頭蓋形成術を受けた患者のインタビューから-」

◎北崎春香

2.2017/7/16 北海道病院学会

「がん放射線治療による皮膚障害ケアの現状と課題」

◎高江州亜利沙

3.2017/7/16 北海道病院学会

「中小規模施設での地域医療安全ネットワーク活動の現状と課題」

◎浅田まゆみ

4.2017/10/12 日本看護学会学術集会 看護管理

「A病院に入院または通院している患者・家族の「健康相談」ニーズ調査

◎宮木未果◎黒沢侑司◎本間美恵子

5.2017/10/12 日本看護学会学術集会 看護管理

「A病院手術室における新卒看護師育成の現状と今後の課題」

◎西山直美◎本間美恵子

6.2017/10/13 日本脳神経看護研究学会

「開頭手術を受ける患者の術前オリエンテーションに関する意識調査-患者の望むオリエンテーションに向けて-」

◎藤川奈緒

7.2018/2/3 日本がん看護学会

「治療中止時期の進行がん患者の意思決定支援における専門看護師の臨床判断」

◎川瀬文香◎菅原邦子(天使大学大学院看護学研究科)

<院内看護研究発表>

1.2018/3/20

「パーキンソン病患者の服薬に関する認識」

◎蓑口亜寿紗

2. 2018/3/20

「ICD-9-CM 分類 CRAN の清潔創手術における予防抗菌薬術中追加投与の必要性についての検討」

◎前田孝則

3. 2018/3/20

「脳卒中患者の救急要請時に救急外来看護師が必要と考える患者の事前情報」

◎鈴木摩耶

【部署の特徴・方針】

・ SCU (脳卒中ケアユニット)

SCU は対象疾患である脳卒中の急性期治療に特化した看護を提供しています。倫理的配慮、患者・家族の立場に立った看護を大切にしています。また、患者・家族が生活の再構築ができるよう、他職種と共により良いチーム医療の提供に励んでいます。

(5 階面談,SCU 後輩指導風景)



・ 5 階病棟 (脳外科急性期病棟)

主に脳神経外科疾患の術前・術後の看護を提供しています。非常に難易度の高い手術を行っているため、医師や他職種と協働し、最善の医療を提供できるよう看護師も専門性を高めています。

・ 6 階東病棟 (頭頸科など)

6 階東病棟はがん患者さんの入院病棟として開設された病棟です。主に頭頸科のがん患者さんの手術前後の急性期看護を提供しています。

がん治療においては薬剤師をはじめチーム医療が非常に重要です。病棟薬剤師、認定看護師、リハビリ、ME 等との連携を大事にしています。患者さん一人一人を尊重した看護の提供を目指しています。

(6 階西点滴確認中、6 階東点滴準備中?)



・ 6 階西病棟 (消化器外科、内科、ペインなど)

6 階西病棟は、今後増加することが予測されるがん患者さんの入院病棟として開設した病棟です。

混合病棟ではありますが、患者さんの思いにそった看護の提供を目指しています。がん化学療法認定看護師の支援もあり、スタッフ一同、日々学習です。

・ 7 階東病棟 (循環器内科、心臓血管外科、形成外科)

7 階東病棟は循環器、形成、心臓血管外科の混合病棟です。検査や治療が安心、安全に行われるよう患者さんのニーズをしっかりと把握し、援助を行っています。

また、患者さんや家族の思いを尊重し、早期社会復帰が可能となるよう医師、看護師、リハビリ、MSW など他職種連携をとりチーム医療を実践しています。

(7 階東科長さんの指導・7 階西同期の 2 人)



・ 7 階西病棟(地域包括ケア病棟)

7 階西病棟は、患者さんが地域に戻られる最終調整を行う地域包括ケア病棟です。患者さんに住み慣れた地域へ安心して戻っていただくために、生活の支援者として十分に役割を發揮できるよう他職種で協働しています。

・外来

病院の2・3階は外来フロアになっています、脳神経外科外来をはじめ、専門外来（乳腺外科、婦人科外来、頭頸科）、内視鏡など、様々な患者さんに対応できるようになりました。外来看護師として、受診される患者さんが安心して検査・治療を受けられるよう、患者さんのニーズを把握し、思いやりのある看護提供を目指しています。

・手術室

手術室は7室あり、脳神経外科を筆頭に年間900件以上の多様な手術対応を行っています。確かな技術を身につけていきたいと全スタッフレベルアップに取り組んでいます。安心できる、話しやすいチーム内の雰囲気も手術室の大事にしているところです。

(手術室 術前チェック)



・化学療法室

当院は28床の化学療法室があり、皮膚排泄認定看護師、がん化学療法認定看護師が安全・安心できる治療・ケア提供をしています。医師、薬剤師らと協働で患者さん、地域のニーズに応えていきたいと思っています。

・陽子線治療センター

新病院開設時に最新リニアックでの治療を開始しました。2017年には北海道民間病院初の陽子線治療も開始となりました。4名の専従スタッフが、医師、技師らと協働しています。患者さん個別のニーズを把握し、QOLの維持に努め、安心いただけるような看護提供を目指していきます。

・地域医療支援センター

病院にある地域医療支援センターに看護部から担当副部長、係長、看護師を配置しています。入院前から必要な情報提供、ニーズを把握し、看護の継続を図る重要なセクションです。

退院調整・支援機能も持ち、患者さんがスムーズに住み慣れた地域へ帰れるよう支援しています。

【今後の目標】

2018年度は移転後3年目となる。改めて初心に帰る気持ちを大事にしたいと考えている。看護部のキーワードも「原点回帰」とし、下記の4つの重点目標を掲げ、PDCAサイクルを回していきたい。

1. 看護の労働環境、業務の改善、改革。
2. チームの看護をリードする人材育成。
3. 経営貢献
4. 継続看護の強化 である。

特に継続看護の強化では、地域で働く看護師との共同（合同カンファレンスの実施）、新卒訪問看護師育成を法人内看護管理者と協働で実践していきたい。

地域で看護する“人づくり”とその“人”が生き活きと働けるための“しくみ”を作り、地域の看護と連携しながら、地域住民に良質な看護を提供していきたいと考えている。

【概要】

患者さん、来訪者、医療従事者、施設、環境を対象に、感染に対するリスクを最小限に抑えるために活動している部署

【業務内容】

各種サーベイランス、感染症発生状況の把握と発生時の対応・対策検討・実施における指導、抗菌薬使用状況の把握・指導、マニュアル作成、1回/週での病院内ラウンド、病院職員、委託業務職員に対する教育、職業感染防止対策、医療材料の洗浄・消毒・滅菌に関わる感染防止対策など。

法人関連施設の感染症対策に関わる相談や、研修会講師等も受け、法人全体の感染防止対策が向上するよう活動している。

【2017年度の取組】

| MRSA 分離状況 | |
|-----------------------------|------|
| 分離患者数 | 71件 |
| 分離率(MRSA 分離患者数/検体提出患者数×100) | 8.3% |
| 血液曝露発生件数 | |
| 針刺し・切創 | 23件 |
| 粘膜曝露 | 6件 |

<キャンペーンの実施>

・針刺し/切創ゼロキャンペーン



各部署から応募してもらった標語の中から「針刺しは、小さな痛みで大きな代償」をキャンペーンテーマとして、1週間実施した。

・手指消毒使用キャンペーン



「病室へ入る時、出る時、手指消毒を行う」をキャンペーンテーマとして実施した。病室の出入りがない職種に対しては、業務に合わせたテーマを設定し、病院全体で取り組んだ。

2017年度は、届け出が必要な感染症が発生する事もあったが、アウトブレイクなく経過した。これは、現場からの迅速な報告があり、必要な防止対策を早期に実施し、現場スタッフの適切な対応によるものと評価する。しかし、手指消毒薬の使用量に関しては、キャンペーン等を実施したが目標達成には至らなかった。今年度は、連携施設相互に病院内のラウンドを実施した。その際、いくつかの指摘を受けており、改善活動に取り組んでいる。

【参加研修会・学会・勉強会】

- 日本環境感染学会
- 日本化学療法学会
- 日本感染症学会
- 日本感染管理ネットワーク
- 北海道病院学会
- 日本看護学会 看護管理
- 北海道中材業務研究会

【学会発表】

2017/5/20 第64回 北海道薬学大会
「抗菌薬の適正使用」 ○岡野 翔

【部署の特徴・方針】

主に、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師からなる感染制御チーム（以下 ICT）で活動しており、ICTが病院内の感染防止対策を担っている。

各部署には感染防止対策の役割を担うリンクスタッフがおり、ICTと連携し部署内での役割モデルとして活動している。

【今後の目標】

感染症拡大防止へ向け、病院内で発生する感染症状況の把握や防止対策の改善に努める。病院職員全員が、同じように感染防止対策を実施できるよう活動していく

医療安全管理部

医療安全対策室

【概要】

医療安全管理部は、患者に安全な医療サービスを提供するとともに、職員や病院に係る全ての人の安全を考え活動する部門です。

医療安全対策室は、安全に関する情報の収集、分析、対策、評価を通じ、医療の質向上のためのマネジメントを行います。また、安全の視点からの職員の教育・研修・指導を実施しています。

【業務内容】

- MRM 委員会／事故分析委員会の運営
- 上記委員会、看護部安全推進委員会との連携し、ヒヤリハット事例の分析・対策の実施、職員への周知、評価の実施
- 医療安全に関する組織体制整備に関する業務
- 医療安全に関する情報収集
- ヒヤリハット・事故報告の収集・分析・対策（初期対策）の実施と記録、その後の評価
- 各部署セーフティマネージャーへの支援
- 全職員に対する安全教育の推進・実施・評価
- 医療事故発生時の対応
- 患者・家族等からの医療安全に関する相談への対応

【2017年度の取組】

- 各部署に医療安全に関する目標を立ててもらい、各部署と医療安全対策室協働で、目標の評価を行いました。初めての取組でしたが、医療安全管理者として上手に介入できていない面がありました。
- ヒヤリハット報告：報告総数は、1673 件でした。



報告部署は、例年看護部が一番多いです。今年度は、臨床検査部と放射線部からの報告が 100 件を超えました。

影響度別では、レベル 0 の報告が、全体の 30.6% でした。レベル 3b 以上の事故が 10 件ありました。

- 事故後の対策が行われているか等のパトロールを実施しています。結果は委員会やセーフティマネージャーを通して周知したり、広報を活用したりしてフィードバックしています

| パトロール内容 | 協働部署 |
|-----------------|-------|
| 類似薬の配置状況 | 看護部 |
| 手術室の麻薬管理票 | 看護部 |
| 行動制限に対する記録1回目 | 診療管理部 |
| 行動制限に対する記録2回目 | 診療管理部 |
| 救急カート点検用紙 配置状況 | |
| ハイリスク薬剤一覧表 配置状況 | |
| アレビアチン注意喚起ラベル | |
| 挿管チューブテープ交換 | 看護部 |
| 転倒転落防止策 | 看護部 |
| 指示受け業務 | 看護部 |

- 多職種カンファレンス：月平均 37 件実施しました。主な内容はヒヤリハット・事故事例についてですが、医療安全に関する相談が昨年度より 28.2 ポイント増加しました。

| | |
|----------------------------|------|
| ヒヤリハット事例(情報収集・共有・分析・対策検討等) | 290件 |
| 医療安全に関する相談 | 174件 |
| パトロールに関する事 | 6件 |
| 医療安全に関する研修に関する事 | 18件 |

【学会発表】

2017/7/22 北海道病院学会

「中小規模施設での地域医療安全ネットワーク活動の現状と課題」 浅田 まゆみ

【今後の目標】

- 医療安全のカンファレンスを継続して行い、職員の皆さんの医療安全に関する知識や視点を広げ、職場の安全へ繋げられるように活動していきたいと考えています。

【概要】

様々な職種と協働しながら、褥瘡の予防ケアや治療を中心に行う委員会で、院内褥瘡発生率の低下を目指して活動している。

【業務内容】

院内で発生した褥瘡や、褥瘡をもって入院してくる患者、褥瘡発生リスクの高い患者の把握をし、病棟の看護師とともに褥瘡の予防や治療に必要な対策の検討と実施・指導を行っている。

1回/週の高職種による褥瘡回診と、1回/月の会議を行い、回診日以外にも、褥瘡ケアについての相談ができる体制をとっている。

創処置に関わる指導、マットレスの種類やポジショニング、ケア方法に関する医療従事者・患者・家族からの相談を受け、指導などを行っている。

その他に、マニュアル作成や 法人関連施設からの相談や、研修会講師等も受け、法人全体のケアが向上するよう活動している。

【2017年度の取組】

褥瘡発生件数

院内発生 56件

院外発生 47件

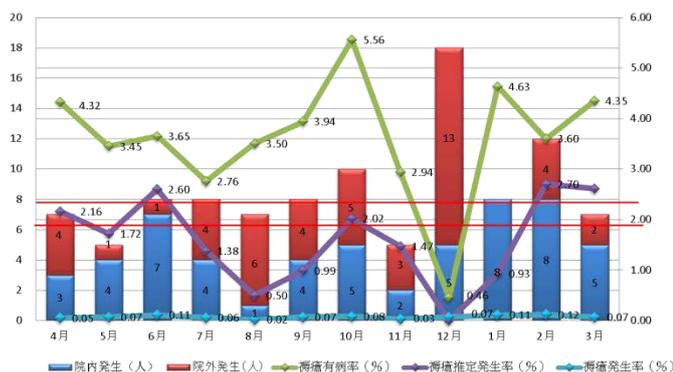
褥瘡発生率

褥瘡発生率 0.07%

推定褥瘡発生率 1.59%

褥瘡有病率 3.60%

褥瘡発生数及び褥瘡発生率



院内勉強会の開催

| 日時 | テーマ | 参加者 |
|-------|---------------------|--------------|
| 4/18 | スキンケアと褥瘡予防 | 新人看護職員 |
| 10/20 | 創傷と栄養管理 | 全職員 |
| 12/8 | 創傷管理のいろは | 全職員 |
| 3/2 | ポジショニングについて (演習) | 看護職員 リハビリ |

2017年度は、院内褥瘡発生率の低下を目指し、褥瘡回診以外に、褥瘡対策チームによる病棟ラウンドと、褥瘡ケアについて検討するカンファレンスを開始した。定期的に病棟をラウンドし、体圧分散マットレスの選択やポジショニングの方法、ポジショニングクッションの使用方法などについて、アドバイスをを行った。カンファレンスでは、各部署で困っている褥瘡ケアについてテーマを選択し、病棟のスタッフとともにケアの検討を行った。活動により、褥瘡対策に対する課題なども明確になっているため、次年度も継続して活動していきたい。

【参加研修会・学会・勉強会】

- 日本褥瘡学会
- 日本創傷・オストミー・失禁管理学会
- 北海道病院学会

【部署の特徴・方針】

主に、医師・看護師・薬剤師・療法士・管理栄養士をはじめとする多職種で活動し、最善のケアが提供されるようカンファレンスし、実践に繋げている。各部署にはリンクナースが配置され、部署内の褥瘡ケアのリーダーとして活動している。

【今後の目標】

院内褥瘡発生率の低下に向けて、多職種で協働して褥瘡予防対策に取り組んでいく。今後は、院内だけでなく、法人内の施設とも連携をとりながら取り組んでいきたい。

【概要】

薬剤部は、医師・看護師等医療スタッフとともに医療チームの一員として、多様化する高度な医療を支え、安全・安心で効率的な薬物療法を提供するため、医薬品の適正使用・適正管理に努めております。特に、入院中の患者さまには服用単位での薬の管理、注射薬のセット・調製を行い、安心できる薬物治療に寄与しています。

【業務内容】

調剤、注射調剤、無菌製剤調製、抗がん剤調製、院内製剤、薬品管理、麻薬管理、治験薬管理、医薬品情報管理、病棟業務（病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務）チーム医療（感染対策・栄養サポート・がん化学療法・緩和ケア・褥瘡対策・排尿ケア等）

【2017年度の取組】

薬剤師の病棟での活動を強化し、特に薬剤管理指導業務を積極的に行うことで、薬剤師がベッドサイドに行く機会が増え、服薬アドヒアランスの向上に寄与しました。病棟回診への参加、処方・注射オーダー協働入力が定着し、チーム医療の貢献につながりました。結果として、薬剤管理指導・退院時指導・病棟薬剤業務実施加算等が増えました。

【参加研修会・学会・勉強会】

全日本病院学会
日本緩和医療薬学会
日本医療薬学会
日本臨床腫瘍薬学会
北海道病院学会
北海道薬学大会
病院診療所薬剤師研修会
日本病院薬剤師会実務研修会

【学会発表】

2017/5/21 北海道薬学大会
「薬学的介入事例報告の有効活用」
岩崎 正宏
「医薬品情報業務が病棟活動で生かされるために」
天童 有香
「抗菌薬適正使用への取り組み」
岡野 翔

2017/7/22 北海道病院学会
「薬学的介入事例報告の有効活用～平成 28 年度の記録から」
岩崎 正宏
「医薬品情報業務が病棟業務に反映されるために」
天童 有香
「がん化学療法構築への取り組み」
大村 侑平

2017/9/9 全日本病院学会
「病棟業務に活かされる DI 業務の取り組み」
天童 有香
「がん化学療法チームへの参画～医療安全に向けて」
大村 侑平

2017/11/11 札幌病院薬剤師会会員発表会
「入院患者における健康食品と医薬品の相互作用に関連する調査」
山形 里奈
「外国人入院患者に対する医薬品情報提供システムの導入」
高橋 詩織

2018/2/3 札幌市病院学会
「がん化学療法における保険調剤薬局との連携～お薬手帳を用いた治療戦略」
尾崎 良輔

【部署の特徴・方針】

当部は、院内において医薬品が適正かつ安全に使用されるための専門的な役割を担っています。「薬ある所に薬剤師あり」を目指し、チーム医療の一員として他職種と緊密な連携をとり、患者さまの治療に貢献すべく日々業務を行います。また自己研鑽に励みます。

【今後の目標】

- ・さらなる業務改善に努め、薬剤管理指導業務の増加
- ・医療安全の観点から、より安全な薬物療法への寄与
- ・チーム医療への積極的参画

放射線部

放射線診断技術科・放射線治療技術科

【概要】

放射線部は最新の検査・治療機器と専用の画像処理コンピュータを使用し、患者さんが安心して検査・治療を受けていただくために放射線診断用画像の撮影や手術支援画像の作成を日頃の研鑽を通して患者さんの病態に合った検査・放射線治療を心がけている。又、放射線被曝管理、機器管理を行い患者さんに対して安全な検査・放射線治療が行える管理を行っている。

【業務内容】

一般撮影
C T 検査
M R I 検査
血管撮影検査
X線 T V 検査
マンモグラフィ検査
核医学検査
放射線治療

【2017年度の取組】

救急医療の拡大において、夜間当直帯での A G ・ T V ・ I V R 検査の増加が予想される事から当直者による対応技師の増加のためその指導に重点をおいた。C T ・ M R I においては専任技師の養成をあげ、対応可能な高度な知識を持つスタッフを養成を行い C T 3名、M R I 3名が対応可能となった。学会・研修会参加に関しては学会・研究会発表 16 題研修会参加 215 回とスタッフそれぞれ知識と技術に励んでいる。放射線治療技術科では 2 月より先進医療として陽子線治療を開始。その後適応疾患を順次拡大してきた。それらの治療に対する技術向上に努めた。

【参加研修会・学会・勉強会】

日本診療放射線技師学会
日本放射線技術学会
日本磁気共鳴医学会
日本医療情報技師学会

日本消化器がん検診学会
日本核医学学会
日本放射線腫瘍学会
日本医学物理学会
北海道放射線技師会
北海道放射線技術学会

【学会発表】

- 2017/9/9 全日本病院学会
「頭頸部 3 D C T A プロトコル変更前後での
造影効果の検討」
細川 雅弥
- 2017/9/9 全日本病院学会
「T O F 法を用いた頭部 Perforating branch
描出の検討」
三木 佑輔
- 2017/9/24 日本診療放射線技師学術大会
「頭部 4 D C T A 撮影における心機能評価に
基づく撮影開始時間の検討」
石川 雅崇
- 2017/7/22 北海道病院学会
「札幌禎心会病院における陽子線プロジェクト」
菊池 彩花
- 2017/7/22 北海道病院学会
「札幌禎心会病院における陽子線治療精度」
楡木 飛雅
- 2017/10/7 日本粒子線治療研究会
「札幌禎心会病院における陽子線治療」
菊池 彩花
- 2018/2/10 高精度放射線外部照射部会学術大会
「陽子線スキャンニングビームにおける Integral
Depth Dose の補正法の検討」
中里 慧二

【部署の特徴・方針】

放射線を扱う様々なモダリティー、様々な診療科の検査・治療に対応できるように短期のローテーションを行いそれぞれの技師が様々な検査に対応できる体制を取っている。その中で専門的に興味を持って対応できるモダリティーを個人個人が目標を持ち学会等を通して日々の努力を行っている。

当直体制をとっており24時間救急患者を受け入れるようスタッフが全ての検査機器を操作出来る体制を取っている。

安全性と確実性を重視した高精度な放射線治療を行っている。

【今後の目標】

診療科も増加し様々な検査・治療に対応できるスタッフを養成していきたい、特に循環器内科・心臓血管外科の業務に対応できるスタッフを養成が急務である。

今年度は新規にMR I装置の導入があるため、導入にあたってスムーズに新たな検査の対応を行いたいと考える。

今年度から新たに加わったスタッフに対しては当直業務を行えるように指導を行っていきたい。治療技術科ではさらなる安全性と確実性を重視した高精度な放射線治療を行えるよう技術の向上に努める。

【概要】

診断の客観的根拠となる検査データを担当する。臨床検査技師 14 名が所属し、それぞれの専門性を発揮しながら生理検査、病理検査、輸血検査等を実施している。検体検査については院内ランチとして 24 時間 365 日稼働している。輸血部門として検査から製剤管理まで一元的に関与する。各種委員会活動にも参画し、検査・統計データの作成を担う。

【業務内容】

検体採取（採血、採尿、穿刺介助等）、
生理検査（脳波、誘発電位、誘発筋電図、術中モニタリング、心電図、ホルター心電図、トレッドミル、心臓カテーテル、肺機能、聴力、眼底写真、熱画像、超音波検査、めまい検査等）、
病理・細胞診検査、がん登録、
輸血検査、輸血管理、
精度管理、データ解析、統計データ作成

【2017 年度の取組】

めまい外来、不整脈外来新設に伴い新規検査項目受託を開始した。既設の診療科に於いても、従来の検査方法の見直しに加え、随時、新規検査項目を導入し、診断能の向上に貢献した。各々の検査スキル向上のため学会認定資格の取得を推奨し、新たに超音波検査士(血管領域)、認定心電図検査技師、認定病理検査技師資格を各 1 名ずつ取得した。

増加する一方の多様な業務に対応するため、検査助手 2 名採用し、検査業務以外を分担することとした。また超音波検査士 1 名を中途採用し、手薄になりつつある検査業務の立て直しを図った。生理検査、外来採血はそれぞれ前年から約 2 割増となった

輸血体制の適正化を推進し、細やかな製剤管理を行い、赤血球製剤廃棄率を 8.2%とした。

【参加研修会・学会・勉強会】

日本臨床検査技師会、北海道臨床検査技師会、札幌臨床検査技師会、日本超音波医学会、日本超音波検査学会、日本不整脈心電図学会、日本臨床神経生理学学会、日本神経生理検査研究会、日本脳神経外科学会、日本輸血細胞治療学会、日本医療情報学会、札幌心電図懇話会、日本臨床細胞学会、ほか

【学会発表】

2017 年度は学会発表なし。

【部署の特徴・方針】

専門性向上のため常に自己研鑽することを推奨する。技術の証明となる認定資格を取得し、検査精度を担保する。患者と直接接する機会が多いこともあり、言葉遣いや態度など接遇向上にも力を入れる。

検査受託から結果報告まで適切に実施されるよう気を配り、問題点の改善に積極的に協力する。

【今後の目標】

新年度は技師のスキルアップを重点目標とし、各レベルに合わせた教育体制を新たに構築する。日常業務をセクションごとに担当分けし、各リーダーのもと、日常業務と教育を管理する。各診療科カンファレンスに参加し他部署との連携を図りながら業務を行う。研修・セミナーへの参加や学会発表のサポートを行う。

病理解剖実施体制を整え、必要時に備える。

輸血体制の更なる適正化を推進するため、輸血機器を導入し大量輸血に備える。



リハビリテーション部

理学療法科 作業療法科 言語療法科

【概要】

リハビリテーション部は理学療法科、作業療法科、言語療法科から構成されています。運動機能、高次脳機能、言語機能、摂食・嚥下機能等の回復を目指し、さらには日常生活上の困難さ・不自由さの改善を目標に、病気の発症間もない時期や手術後などの早期から、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による治療を実施しています。

算定疾患別リハビリテーション

- ・脳血管疾患等リハビリテーション
- ・運動器リハビリテーション
- ・心大血管リハビリテーション
- ・呼吸器リハビリテーション
- ・がんのリハビリテーション

【業務内容】

理学療法科：理学療法士 24名

動作や歩行の分析・誘導による治療を基本とし、日常生活動作の改善に努めています。筋力の改善、関節可動域の拡大などの機能回復を行います。急性期では早期離床や日常生活動作の練習に取り組んでいます。亜急性期では動作分析・誘導による治療を基本とし、患者さん自身が気づき、修正できる治療を心がけ、基本動作や日常生活動作能力の拡大に努めています。また頭頸部外科や消化器内科・外科での治療、治療予定の方、循環器内科や心臓血管外科で治療中の方への理学療法も実施しており、処方も増加してきています。

作業療法科：作業療法士 18名

日常生活動作(食事・整容・更衣・排泄・入浴)や日常生活関連活動(家事動作・外出等)など様々な作業活動を通じて、心身機能の回復、社会復帰を目指します。病気を発症された直後から開始し、身体機能、高次脳機能の治療に加え、当院退院後の生活を見据え、日常生活動作や家事、仕事、自動車運転など様々な活動への援助を行っています。また、脳動脈瘤等の手術を予定されている方に手術前後の高次脳機能・身体機能の

評価を実施したり、もの忘れ専門外来を受診された方の高次脳機能評価(記憶力や注意力などの検査)を実施しています。

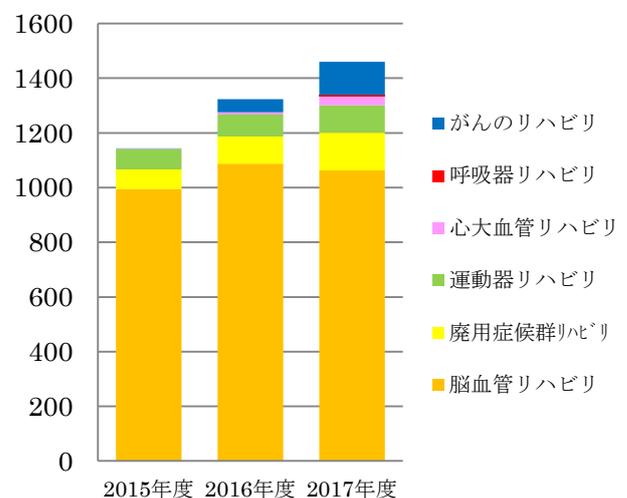
言語療法科：言語聴覚士 10名

脳血管障害などによる失語症・構音障害等のコミュニケーション障害、高次脳機能障害の方への言語聴覚療法や、嚥下障害(水分でむせる、肺炎を繰り返している、飲み込みづらい等)への摂食機能療法、脳神経外科での開頭手術の術前後評価等を実施しています。摂食嚥下障害については、VF(嚥下造影検査)による評価やNST(栄養サポートチーム)との協力のもと、安全に食べられるよう訓練及び環境調整を行っています。また頭頸部外科で治療中の方への摂食・嚥下、発声、構音、頸部・顔面機能へのアプローチも取り組んでいます。

【2017年度の取組】

- ・脳神経外科を中心とした急性期リハビリテーションの実施継続。SCU から一般床、地域包括ケア病棟とのシームレスな情報交換、目標設定
- ・頭頸部外科病棟担当の言語聴覚士2名体制の確立
- ・がん関連疾患へのリハビリテーション実施
- ・循環器内科、心臓血管外科入院患者へのリハビリテーション実施と診療部門との連携 等

疾患別リハビリ処方件数



【参加研修会・学会・勉強会】

- ・第 54 回日本リハビリテーション医学学会大会
- ・第 23 回心臓リハビリテーション学会学術集会
- ・第 43 回日本脳卒中学会学術集会
- ・第 40 回顔面神経学会
- ・第 52 回日本理学療法士協会全国学術研修大会
- ・第 51 回日本作業療法学会
- ・日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会
- ・第 68 回北海道理学療法士学術大会
- ・第 48 回北海道作業療法士学会
- ・認知神経リハビリテーションベーシックコース等

【第 20 回リハビリテーション部門研究発表会】

理学療法科

- ・口腔底癌再建術後のせん妄により術後管理に難渋した症例
- ・複数医療機関でリハビリテーションを実施している症例の目標設定について

- ・当院 SCU における取り組みと課題

作業療法科

- ・急性期における当事者同士の交流の重要性
- ・「普通にトイレに行けるようになった！」～姿勢補助具の製作と報告～

言語療法科

- ・頭頸部癌に対する当院でのリハビリテーション

【部署の特徴・方針】

・リハビリテーション室は 365 日開室し、急性期からリハビリテーションを開始できるよう体制作りをしています。多職種と連携し、早期離床、早期に日常生活活動が向上できるよう病棟でのプログラムや活動も積極的に取り組んでいます。

方針

1 最新のリハビリテーション医療のコンセプトを導入しながら、発症（受傷）直後から早期に開始し、急性期から亜急性期を中心にリハビリテーションを行います。

2 在宅での生活の質向上を目標としてリハビリテーションを展開し、地域の医療・介護・福祉機関と連携を図りながら、地域住民の生活を支援します。

【今後の目標】

脳神経外科領域においては、今後もより一層、リハビリテーション評価技術、治療技術を向上させ、患者さんとの目標設定、リハビリプログラムの実践の質を高めていきたいと思えます。

毎年、がんのリハビリテーション研修会に参加するなどを実施し、より多くのがん患者さんにリハビリテーションが提供できるよう体制を充実させていきます。

また、処方が増えてきている循環器内科、心臓血管外科疾患の知見を深め、今後も診療科医師と連携しながら心臓リハビリテーションを実践していきます。



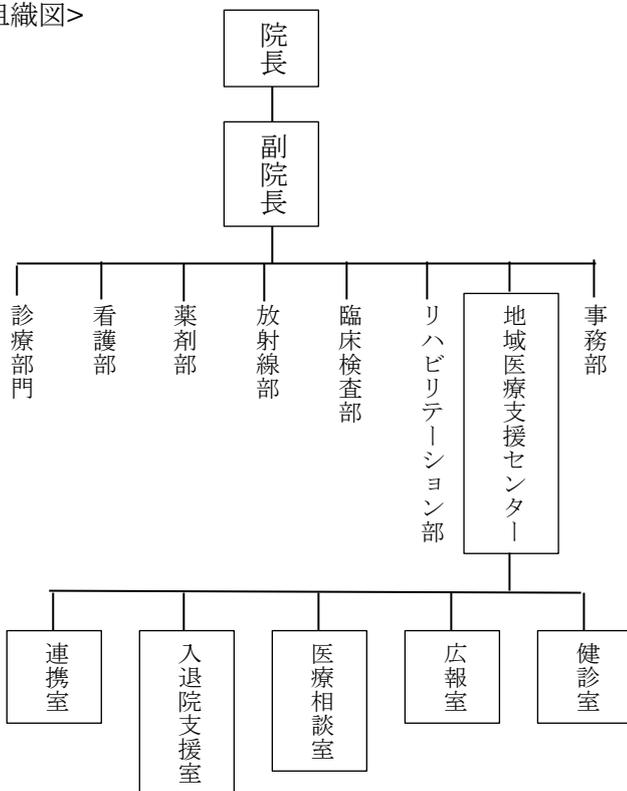
地域医療支援センター

連携室・入退院支援室・医療相談室・広報室・健診室

【概要】

平成28年10月、地域医療支援センターは、「札幌禎心会病院理念の下、患者様が安心して治療・療養生活が送れるよう地域の医療機関および介護・在宅関連事業所との連携を強化し、切れ目のない医療を提供する。また、患者サービスの充実、地域への広報活動を積極的に行い、選ばれる病院を目指す。」ことを目的として設置された。センター内には入退院支援室・連携室・医療相談室・広報室・健診室があり、それぞれの機能を担っている。

<組織図>



【業務内容】

<連携室>

- ・紹介患者の受診調整（外来受診、検査依頼）
- ・紹介元医療機関への受診及び入退院報告
- ・医療連携に関する情報発信
- ・院内案内（コンシェルジュ）サービスに関すること
- ・稼働率の管理（病棟との連携）

<入退院支援室>

- ・患者の総合的なアセスメント
- ・入院時、退院時の説明及び手続き

- ・転院受け入れ及び転院依頼時の調整
- ・入院支援、退院支援、退院調整、退院後支援
- ・在宅、介護サービスとの連携
- ・病床稼働率管理（病棟との連携）
- ・入院予約調整

<医療相談室>

- ・医療費等経済的な問題についての相談
- ・介護保険、社会福祉制度等についての相談
- ・退院及び退院後の支援（在宅、施設訪問を含む）
- ・病気、障害を抱えて生活することの不安についての相談
- ・在宅、介護サービスとの連携
- ・退院調整と稼働率管理（病棟との連携）
- ・セカンドオピニオン外来の対応

<広報室>

- ・広報誌の編集、発行
- ・ホームページの管理、更新
- ・各種パンフレットの制作、DVDの企画、制作
- ・プレスリリースの作成
- ・各種広告の検討、掲出
- ・講演会の企画、実施
- ・テレビ取材のコーディネート、各種マスコミ対応
- ・学会、研究会開催のサポート
- ・各種写真撮影など

<健診室>

- ・健康診断、ドック、保健指導

【2017年度の取組】

連携室では、「連携の窓口」として、地域の医療機関からの紹介にタイムリーに対応することを目標に、紹介患者の受診調整や、紹介元医療機関への受診及び入退院報告を行ってきた。診療科も拡大しており、よりスムーズな調整が行えるよう取り組みをすすめていきたい。

者数も増えてきている。今後は、地域住民の健康増進に寄与できる仕組みを整えていくことが課題となる。

【参加研修会・学会・勉強会】

- 全日本病院学会
- 北海道病院学会
- 北海道医療ソーシャルワーク学会
- 退院支援アクティブミーティング
- 東区医療介護ネットワーク・退院支援看護師会
- 北海道病院協会研修会
- 北海道相談員スキルアップ研修
- 救急認定ソーシャルワーカー認定研修
- 日本 HIS 研究センター(法人会員)

【学会発表】

なし

【部署の特徴・方針】

- ・入院から退院までのシームレスな医療サービスの提供、質の確保
 - ・総合的なアセスメントを通じての患者満足度向上
 - ・医療連携による経営の安定化
 - ・病院情報の一元管理による急性期医療の維持（重症度・看護必要度、在院日数、稼働率）
 - ・看護業務のサポートによる看護師の生産性の向上（直接看護業務の拡大）
 - ・広報活動による院内外への情報発信
- 以上の役割を果たすため、それぞれの部署で連携を図りながら、活動を行っている。

【今後の目標】

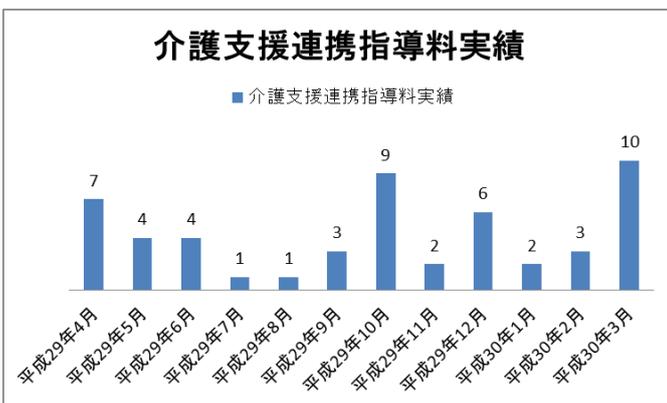
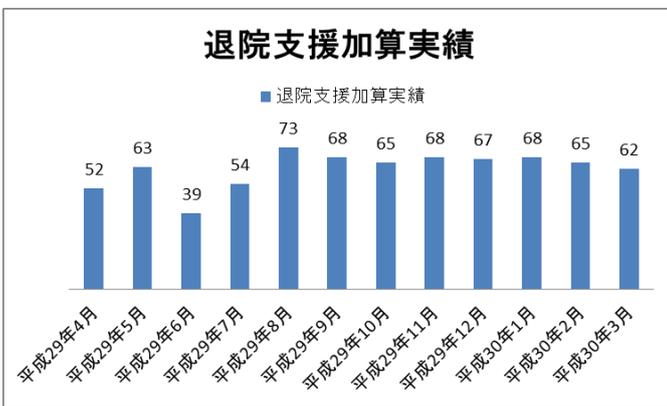
2018年度は地域医療機関、介護事業所等福祉機関との連携推進と拡大を重点目標としていく。

<具体策>

- ・開放病床の拡大
- ・健診事業の拡大
- ・地域包括支援センターと協業し予防事業の実施
- ・医療講演会の推進と診療情報発信
- ・看護添書返書システムの確立
- ・退院前訪問、退院後訪問指導の増加
- ・「入院時支援」システム確立と実施
- ・入院時カンファレンス実施システム構築、退院前カンファレンスの実施



入退院支援室・医療相談室では、退院支援の仕組みの改善に取り組んだ。退院支援ハイリスクスクリーニング項目の見直し・退院支援フローの作成・退院支援マニュアルの作成・退院支援画面の運用開始を行った。退院支援の質向上に向けて、多職種で検討を重ねた年度となった。



広報室では、院外広報誌を4回、院内広報誌を12回発行。パンフレットは「病院総合版(日本語、中国語、ロシア語)」、「陽子線治療(中国語、ロシア語)」、「健診・ドックのご案内」を新たに制作。一般向け講演会は外部からの依頼を含め、122回実施。陽子線治療の宣伝用DVD(日本語、中国語、ロシア語)を制作。テレビ取材対応は5回。講演会の開催を大幅に増やしたほか、陽子線治療の周知に努めた年度となった。

健診室は、保健サービスの拡充として2017年4月に開設された。手順等を適時見直し運営をすすめ、受診

【概要】

臨床工学技士は医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う事を業とする医療機器の専門医療職種です。

医師や看護師、他の医療従事者と協力しチーム医療を推進し、患者さんへのサービスに専念し業務に取り組んでいます。

【業務内容】

主な業務として、医療機器保守管理業務、手術室業務、内視鏡センター業務、AG室/IVR-CT室業務があります。

医療機器保守管理業務では、使用后点検やトラブル対応だけではなく、院内の巡回点検や手術前の使用前点検を実施しています。

内視鏡センターでは、検査や治療での医師のサポートや洗浄・消毒にも関わっています。

AG室やIVR-CT室では、脳外科・循環器内科・心臓血管外科・放射線治療科・ペインクリニック外科・消化器内科・消化器外科による検査や治療での医師のサポートをしています。また体外循環等の臨床支援業務も増えてきております。

【2017年度の取組】

医療材料の管理も行っているため、手技料や償還価格だけではなく、全ての医療材料にも関わり、必要に応じ見直しを行っています。

人材を育成し情報を共有するためにも、関係部署との定期的な勉強会、機器導入時の説明会、新人教育のための研修会、材料変更時の取扱説明会等、必要に応じ開催しております。

またAEDの使用方法や救命講習についての医療講演や院外講演依頼についても受け入れおり、3回開催しました。

【参加研修会・学会・勉強会】

主な参加学会

- ・日本臨床工学会
- ・北海道臨床工学会
- ・日本心血管インターベンション治療学会
- ・日本体外循環技術医学会
- ・日本消化器内視鏡技師会
- ・北海道消化器内視鏡技師会
- ・日本医療機器学会
- ・日本麻酔科学会
- ・日本集中治療学会
- ・日本高気圧環境・潜水医学会
- ・日本高気圧環境・潜水医学会北海道地方会

【部署の特徴・方針】

現在、臨床工学技士7名在籍し、急なトラブルや緊急性の高い治療に迅速に対応できるように、24時間365日のオンコール体制をしています。

臨床支援業務が増えていることや高度化・複雑化する医療機器に対応すべく、各種学会認定等の取得も行っています。

■取得資格

| 臨床工学技士 | 7名 |
|----------------------|----|
| 3学会合同呼吸療法認定士 | 1名 |
| 消化器内視鏡技師 | 2名 |
| 透析技術認定士 | 1名 |
| 高気圧酸素治療専門技師 | 2名 |
| 医療機器情報コミュニケーター(MDIC) | 1名 |
| 医療情報技師 | 1名 |
| BLSヘルスプロバイダー | 1名 |
| 応急手当普及員(札幌市) | 2名 |

【今後の目標】

医療機器が増大していく中、安全使用および性能維持を確保するために、保守点検計画の策定および実施が重要です。今以上に適切に効率の良い保守管理体制の確立と医療機器全ての一元管理に取り組みます。

各診療科の臨床支援業務に対応すべく、人員の確保および教育が早急に必要となる。

【概要】

専門的な知識を生かし、幅広く「食」や「栄養」に関してサポートしています。

入院患者の栄養状態を把握し、医師・看護師・他職種と情報を密に連携し、栄養状態の改善・維持に努めています。また NST (栄養サポートチーム) 活動を積極的にを行い、多方面から栄養療法にアプローチしています。

【業務内容】

栄養管理 (スクリーニング・アセスメント・プランニング・評価など) / 入院・外来栄養指導/各種回診・カンファレンスの参加/ミールラウンド/嗜好調査/給食管理/衛生管理/健康教室/保健指導/NST 活動など

【2017 年度の取組】

(食事) 2017 年 4 月より COOP さっぽろ関連会社であるコープフーズ株式会社に給食業務を委託しています。既存の大手給食委託会社では実現することが出来なかった「地産地消」を生かした食事を提供することが目的です。コープフーズ株式会社と連携するようになってから、道産の生鮮食品の使用割合が大きく増えています。昔から病院給食は美味しくないというイメージが根強く残っていますが、新鮮で美味しい旬の食材を使用することで「ここの病院の食事は美味しいね」と言って頂けるように努力・改善を続けています。

病院食レシピコンテストにも積極的に応募したくさんの賞を頂いています。商品化されたレシピもありました。賞を頂いたレシピは当院の病院食にも登場しています。

その他

病院レシピコンテスト減塩部門 金賞受賞
きた食 DAY レシピコンテスト 入賞
など

●低カロリースイーツレシピコンテスト銀賞受賞
『とうきびまるごと しおプリン (99kcal)』



材料 (5 個分)

牛乳 : 270 cc

とうきび (実の部分) : 1 本 (200 g 前後)

上白糖 : 15g

食塩 : 少々

ゼラチン : 12 g

とうきびの茹で汁 : 50 cc

ホットケーキミックス : 20 g

ミントの葉 : 適量

作り方

- ① トウモロコシは茹でて、実と芯を分ける。飾り用の実を何粒かよけておく
- ② 芯だけを①' の茹で汁にもどし、さらに煮詰める
- ③ 牛乳 180 cc と①' のとうもろこしをなめらかになるまでミキサーにかけ、ザルで濾す
- ④ ③' で濾したザルに残ったとうもろこしの皮とホットケーキミックスを混ぜ合わせ、薄く延ばして型で抜いて 200℃ のオーブンで 10 分焼く
- ⑤ 牛乳 90 cc を温め、ふやかしたゼラチン⑥ を入れて溶かす
- ⑥ ⑤'、③'、砂糖 12 g、塩を混ぜ合わせ、型に流して冷やし固める
- ⑦ ②' で煮詰めた煮汁に砂糖 3 g、ふやかしたゼラチン④ を加え冷やし固める
- ⑧ ⑤' の上に⑥' のゼリーと④'、粒のコーン、ミントの葉を飾る

(栄養管理) 管理栄養士は病棟へ配属し栄養サポートに従事しています。特に 2017 年度は病態に合わせた栄養管理を迅速かつ丁寧に行うことを心掛けました。患者さんの回復していく過程を近くで寄り添えた事が管理栄養士として働くモチベーションを高く維持できたと思います。

【参加研修会・学会・勉強会】

日本静脈経腸栄養学会
日本病態栄養学会
北海道病院学会
全日本病院学会
北海道胃瘻研究会
北海道栄養士会春期・秋期研修会
全国栄養経営士のつどい
など

【学会発表】

2017/7/22 北海道病院学会
「開頭手術の術後創傷に対するコラーゲンペプチドとアルギニンの効果」
◎早坂愛・角直子・井戸川久美子・丸山沙織
2017/9/10 全日本病院学会
「北海道の魅力を生かした美味しい病院給食を目指して 第2報」
◎角直子・井戸川久美子・丸山沙織・早坂愛
2017/11/18 北海道胃瘻研究会
「進行胃がん患者に NST が介入し胃瘻造設に至った1例」
◎丸山沙織・角直子

【部署の特徴・方針】

4 人の管理栄養士がチーム医療の一員として医療に貢献することを目標にし、高いスキルと技術の習得に日々励んでいます。

取得資格

NST 専門療法士 1 名

栄養経営士 1 名

今年度は 2 名の管理栄養士が NST 専門療法士、病態栄養専門師の資格得を目指しています。

給食委託会社：コープフーズ株式会社

管理栄養士：1 名

栄養士：3 名

調理師：5 名

調理員・洗浄パート：15 名

事務員：1 名

【今後の目標】

栄養に関する情報はメディアなどでも多数取り上げられ飽和・氾濫状態です。患者さんのみならず、職員との会話の中でも「〇〇って体にいいでしょ!？」
「昨日テレビでやっていた〇〇を買って食べてみたよ」と話題に上がります。しかし「何に効果があるといっていましたか？」と尋ねると、返事は「・・・。」
(苦笑)
入院している患者さんはいかしの病気がある方です。なかには悪影響を及ぼす栄養もあります。このような場面に出くわした際は、その人にとって何が必要な栄養なのかを正しく伝えられるように、日々勉強・情報収集に励みます。

【概要】

病院は患者さんと共に、様々な職種が手を取りあつて病に立ち向かう機関です。我々医事課は、「診療」という直接的な介入では無いものの、窓口や会計など、様々な場面で患者さんと接し、その担うべき業務は重いと認識しています。よって、患者サービスの重要性は、常に意識し、外来アンケート、目安箱等を用い、患者さんからの「声」に耳を傾けるよう努めています。また、病院経営の企画や運営にも携わっており、接遇のみならず、幅広い知識と経験が必要となる部署です。

法人理念である「良質な医療・介護を通じて、地域社会の繁栄に貢献する」を実現すべく、医師やその他の職種と協同し、地域に求められる病院にしていけるよう、日々精進を重ねていきたいと思ひます。

【業務内容】

病院を訪れた際、まず患者さんの応対をさせて頂く総合案内をはじめ、病棟で応対させて頂く病棟クラーク、医師の横について診療をサポートするドクタークラーク、診療科別の受付である各ブロックの受付などの業務があります。また、外来受診時の請求業務や、入院費の計算、保険者への診療報酬請求なども行っています。その他にも、各保険会社からの診断書を受理し作成を行う医師事務作業補助作業や、様々な問合せの電話を切り分ける電話の交換作業なども行っています。

◎外来担当

- ・ 外来受診時の診療費計算
- ・ 診療報酬請求書の作成及び点検業務
- ・ その他外来で発生する料金の計算等
- ・ 各書類（診断書等の医師の証明が必要な書類）の受注及び作成作業
- ・ 未収金管理、督促業務及び債権委託業務
- ・ 外線電話対応
- ・ 各ブロック診療科受付等（外来クラーク業務）

◎入院担当

- ・ 入院の診療費の計算
- ・ 診療報酬請求書の作成及び点検業務
- ・ その他入院で発生する料金の計算等
- ・ 未収金管理、督促業務及び債権委託業務
- ・ 代表電話対応
- ・ 各病棟受付対応業務等（病棟クラーク業務）

◎診療報酬に関わる各種届出

【参加研修会・学会・勉強会】

- ・ 接遇セミナー参加
- ・ 傾聴セミナー参加
- ・ 事務作業補助者研修会の参加等
- ・ 診療報酬請求に関わる各研修会の参加

【部署の方針】

医事課としては珍しく、課長を2名構えており、スタッフが総勢50名を超える大所帯ではありますが、現場の意見を反映しやすい環境を整えられるよう改変の一步を踏み出したのが、この2017年度になったと思ひます。患者さんにとってより良い医療が提供されるには、先ずは職員の「雰囲気」が大切であり、笑顔絶えぬよう部署の雰囲気に気を付けています。

【今後の目標】

- ・ 人材育成
- ・ 人材確保
- ・ アナログ業務からの脱却
- ・ 業務の可視化
- ・ 効率性の向上
- ・ 残業時間の短縮
- ・ ペーパーレス

事務部

総務課

【概要】

職務は法人本部業務と各事業所総務課に分担されており、銀行取引・預金管理などの資産管理、就業規則・内規作成等の社内規定管理、福利厚生施策は本部業務。職員入退職に係る手続きや申請・出張手配、設備・用度管理等を事業所総務課の業務として行っている。

【業務内容】

- ・人事労務管理：職員入退職手続き・申請業務
- ・会計管理：給与、小口現金処理。
- ・防災管理：消防計画の作成、運用等
- ・福利厚生：補償手続・慶弔手続等
- ・文書の收受、配付、発送及び保存
- ・職員の安全衛生：各種健康診断の実施
- ・設備備品管理：保守点検・台帳管理・車両管理
- ・その他：補助金申請・労災申請、応援医師（海外）の住宅手配・通訳病院行事の運営他
- ・S P D採用

【2017年度の取組】

- ・院内保育所から企業主導型保育所への移行。
- ・職員駐車場、迷惑駐車への対応強化。
- ・障がい者雇用の取り組み

【参加研修会・学会・勉強会】

- ・エネルギー管理講習
- ・医療分野における電波の安全性に関する説明会

【部署の特徴・方針】

- ・海外研修医師に対応のため、英語通訳の職員を配置。また、中国人の患者増加を見据え、中国語通訳の職員を採用した。
- ・衛生委員会と連携し職員の健康診断の実施、結果管理を所管している。

【今後の目標】

- ・設備・施設の保守点検項目の確立。
- ・会計士の助言のもと備品の管理方法を確立。
- ・定型業務の標準化（異動に影響しない体制づくり）
- ・災害訓練の工夫と耐震対策。

秘書課

【概要】

医師が各々その職務に専念できるよう、質の高い秘書業務プロセスを構築し、万全なサポート体制で秘書業務を執り行っている。現在3名体制。

【業務内容】

医局内及び応接室の環境整備、スケジュール管理、出張手配、旅程表の作成、出張旅費・交際費清算等に係る経理事務、電話応対、来客対応、文書作成事務及び管理、会議準備、情報収集と資料の作成、講演会資料作成、贈答品管理、礼状の作成と管理、診察・検査諸対応、住所録管理

【2017年度の取組】

医師が仕事をしやすい環境整備に努める。
業務の効率化を図り残業時間減少に努める。

【参加研修会・学会・勉強会】

北海道病院学会
医業経営セミナー

【部署の特徴・方針】

院内外を問わず取り次ぎ役を担うことが多いため、迅速かつ正確にその内容を伝えることを心がけている。日々の業務で多忙な医師にタイミングよく確実にその内容を伝え確認を行えるよう日頃から積極的にコミュニケーションをはかり、良好な協力関係を築けるよう努めている。

【今後の目標】

従来の業務の取り組み方に固執せず、より合理的な方法を常に模索しながら見直しを図っていきたい。

【概要】

法人全体のシステム企画・運用管理を行い法人全体の業務改善を推進する。

【業務内容】

法人全体の基幹システム（財務・給与・人事）の管理・メンテナンスの実施、HIS（医療情報システム）の管理・メンテナンスの実施、法人全体のネットワークシステムの管理を行っている。

【2017年度の取組】

札幌禎心会病院 電子カルテシステムの安定稼働の為、仮想サーバーOS のバージョンアップ、各ブレードファームウェアのバージョンアップの実施。仮想サーバーブレード間の通信方式を変更しスピード改善を実施した。

【参加研修会・学会・勉強会】

- 全日本病院協会
- 北海道病院学会
- 北海道医療情報技師会
- 北海道医療情報研究会
- 札幌圏地域医療連携研究会

【学会発表】

2017/9/9 北海道医療情報技師研究会
「病院システム移行について」 金谷 浩一

【部署の特徴・方針】

法人全体のシステム企画・運用・管理をチーム4名で実施している。業務範囲は財務・給与・人事・勤怠・電子申請など基幹システムからネットワーク・電子カルテ及びサブシステムまで多岐に渡り、医療から介護まで幅広く対応をしている。

当院の電子カルテは仮想技術を使用しており日々仮想化技術は進歩している、メンバー全員が仮想化技術を習得し安全で安心な医療情報システムの維持・向上に努めている。

【今後の目標】

法人全体の基幹システム・医療情報システムが導入して5年目を迎え更新時期となっている。コストと要求事項のバランスを取りながら新たなシステム創りを企画していきたい。

【概要】

病院の統計や各種調査票、学会への定期症例報告、NCD、全国がん登録、各部門からのデータ抽出依頼、診療報酬改定時のコード関連、電子カルテの伝票やテンプレート、各種書類関連、そして DPC 関連全般と、その業務の幅は非常に多岐に渡り、情報の収集・蓄積・抽出・分析を担当している。

【業務内容】

DPC 関連/全国がん登録/NCD/各種調査票/学会定期報告/診療録管理/各種統計/電子カルテ書類・伝票・テンプレート管理/電子カルテ操作レクチャー/各種用紙管理/個人情報関連/診療情報関連実習生受入など

【2017 年度の取組】

2017 年度においては、DPC、がん登録、NCD と比較的に安定稼働していたと総括する。これは、ひとえにスタッフの自助努力の賜物である。しかし、下半期になり欠員が発生。これにより、年間 400 件以上の依頼があるデータ抽出や、作成後の検証等で時間のかかる電子カルテ関連において「業務の瞬発力」が維持できず、2018 年度に繰り越してしまった業務が数多く発生したのは極めて残念であった。

スキャン後の原本保管場所であった旧病院の第一中央病歴室が手狭となり、2017 年度、第一中央病歴室の横にあった旧男子ロッカー室を「第二中央病歴」として改造し書庫の増設を図った年度となった。

【参加研修会・学会・勉強会】

全日本病院協会
北海道病院学会
日本診療情報管理学会
北海道診療情報管理研究会
北海道医療情報技師会
全国がん登録研修会
北海道がん登録研究会
JCVSD データマネージャ会議

【学会発表】

2017/7/22 北海道病院学会

「病院移転に伴う受診患者の動向分析」

◎鷺見孝人○長勢由香里○濱田朋里

【部署の特徴・方針】

原則的に、部署の業務分掌は「二人一組」で、いつどのようなタイミングで人員が欠員しても対応できる機能を有するよう人材育成を行っている。また、「個々の責務を忠実に遂行せよ」を前提とし、業務の一部だけを任されるのではなく、制度の骨格から細部の業務に至るまでを一貫して全員が遂行できるだけの知識と技術の習得を目標としている。

【今後の目標】

欠員補充のスタッフを 4 月以降迎えるにあたり、新たな体制で今まで以上の精度と業務を遂行できるよう努力は怠らぬようにしていきたい。

また、データ抽出関連の依頼が年間 400 件を超えてきており、次の世代の Access のパワーユーザの育成に力を入れていきたい。そして、医師からのアウトカム等におけるデータ蓄積に関しては「いかに効率的に、かつ精度を高く」を目標に、人力に頼っている部分の簡略化を目指していきたい。

来院患者の分布図の作成ツールである QJIS においても、担い手が欠員の為 1 名となっており、技術継承においても力を入れていきたい。

